取扱説明書(応用編)

ネットワークカメラ
IPD-BX11
IPD-DM11

ご利用前に本取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

取扱説明書（応用編）について

本書は PC からネットワークを通して下記のカメラを設定する方法について説明しています。
●IPD-BX11（ボックス型ネットワークカメラ）
●IPD-DM11（ドーム型ネットワークカメラ）

本書は以下の URL からダウンロードすることができます。

http://www.ikegami.co.jp/products/download/security.html

設置、および、導入につきましてはカメラ付属の取扱説明書（導入編）を御覧ください。
PDF ファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。アドビシステムズ社の Web サイトから最新版のものをダウンロードして、インストールしてください。

商標と登録商標について

●Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Adobe、Reader は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
●本文中では®、™は省略しています。
●本取扱説明書では、Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

表示用ソフトウエアについて

●ネットワークを通して画像を表示する専用ビューアやカメラを検索ソフトウエアもあります。
ビューアの入手については、販売店までお問い合わせください。

目次

1.カメラのログインと設定画面 1
2.Quick Configuration　簡易設定 4
2-1.Step 1:Server Name（サーバー名変更） 4
2-2.Step 2:Local Date & Time Configuration（日時設定） 4
2-3.Step 3:Network Configuretion：Static IP（ネットワーク設定 固定 IP） 4
2-4.Step 4:IP-CCTV DNS Setup（ダイナミック IP アドレス環境での使用の場合） 4
2-5.Step 5:Recording Configuration（録画する画質とフレームの設定） 4
2-6.Finish:Save Configuration（各設定データの保存） 4
3.Live Viewer（ライブ表示） 5
3-1.ActiveX のインストール 5
3-2.Live Viewer 画面説明 6
3-3.映像と音声の制御 6
3-3-1.映像表示と音声制御(音声は IPD-DM11 モデルのみ対応) 6
3-3-2.マウスオーバーボタン 7
3-3-3.右クリックメニュー 9
4.System Configuration（システム環境・接続の設定） 11
4-1.Server Name（サーバー名の設定） 11
4-2.Date & Time（日時設定） 12
4-3.Admin. Password（管理者パスワード） 13
4-4.Access Control（サーバーアクセス管理） 13
4-5.User Registration（Limited Access にアクセス可能なユーザー登録） 14
4-5-1.Add（新規登録） 14
4-5-2.Edit（ユーザー登録内容変更） 16
4-5-3.Delete（削除） 16
5.Network Configuration（ネットワーク環境・接続設定） 17
5-1.Network Configuration（固定 IP アドレス、DHCP クライアント、PPPoE の設定） 17
5-1-1.Static IP（固定 IP アドレス環境設定） 17
5-1-2.DHCP Client（DHCP 環境設定） 18
5-1-3.PPPoE（PPPoE 環境設定） 18
5-2.Network Ports（ネットワークポート設定） 19
5-3.Bandwidth Control（映像配信ビットレート設定） 19
5-4.View Network Status（ネットワーク接続状況表示） 20
5-5.Network Status Notification（ネットワーク状況通知） 21
5-6.IP-CCTV DNS Setup（IP-CCTV DNS 設定） 22
5-7.Port Forwarding & UpnP（ポートフォワーディングと UPnP） 23
5-8.RTP/RTSP（RTP/RTSP ストリーム配信設定） 24
5-9.SNMP 25

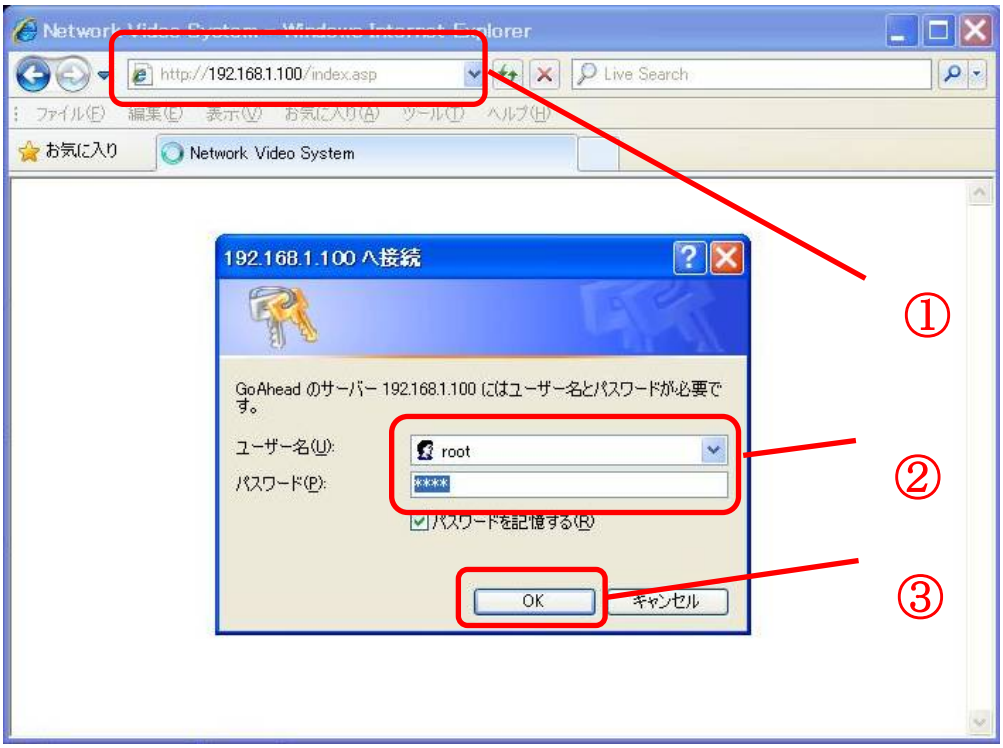
目次

6.Device Configuration（デバイス環境・接続設定） 26
6.1.Serial Ports（シリアルポート） 26
6.2.Privacy Zone（プライバシーマスク設定） 26
6-3.Camera & Motion（カメラの配信設定と動き検出設定） 27
6-3-1.Camera & Motion（カメラの配信設定と動き検出設定） 28
6-3-2.Camera Control（カメラ設定） 29
6-3-3.Motion Detection（動き検出機能） 30
6-3-4.PrimaryStream と SecondaryStream（1 次ストリームと 2 次ストリーム） 31
6-4.DI (Sensor Input) / DO (Alarm Output) 32
6-5. DI(Sensor Input) Status / DO(Alarm Output) Control 33
7.Advanced Configuration 34
7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定） 34
7-2.E-mail（E メール設定） 35
7-2-1.E-mail（E-mail Service Configuration） 35
7-2-2.Camera（E-mail Service Setup for Each Channel） 36
7-2-3.Condition（スケジュールとイベント設定） 37
7-3.FTP(Buffered) 38
7-3-1.FTP(Buffered) 38
7-3-2.Camera(FTP Service Configuration) 39
7-3-3.Condition（スケジュールとイベント設定） 40
7-4.FTP(Periodic) 41
7-4-1.FTP(Periodic) 41
7-4-2.Camera（FTP Service Configuration） 42
7-4-3.Condition（スケジュールとイベント設定） 43
7-5.Sensor Notification（センサーの状態通知設定） 44
7-5-1.Sensor Notification 44
7-5-2.Input 45
7-5-3.Condition（スケジュールとイベント設定） 46
7-6.Alarm Output 47
7-6-1.Alarm Output 47
7-6-2.Output 47
7-6-3.Condition（スケジュールとイベント設定） 48
8.Recording Configuration（録画設定） 49
8-1.SD Configuration（SD カードの初期設定） 49
8-2.Recording Configuration（録画設定） 52
8-2-1.Camera（録画スケジュール設定） 53
8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定） 54
8-2-3.Pre-Alarm & Post-Alarm Configuration Example 58

目次

8-3.Recording Profile（録画設定確認） 59
8-4.Recording Mode（録画モード設定） 59
8-5.SD Status Report（SD カード使用状況 E-mail 設定） 60
8-6.Clear Recording Config（録画設定内容の消去） 61
8-7.Delete Recorded Data（録画データの消去） 61
9.Utilities（共通設定） 62
9-1.System Log（システムログ） 62
9-2.Save Configuration（設定保存） 63
9-3.Reboot（再起動） 63
9-4.Factory Default（工場出荷設定） 64
9-5.System Update（システムのアップデート） 64
9-5-1.All(Firmware, RAM disk, System, Web) Update（全てアップデート） 65
9-5-2.System and Web Update（システムファイルと Web ファイルのアップデート） 68
9-5-3.Web Only Update（ウェブのみのアップデート） 68
9-5-4.Sensor Device Driver Update（センサーデバイスドライバーのアップデート） 68
9-5-5.Flexible Extra system（外部付加装置の追加） 68

1. カメラのログインと設定画面



①Internet Explorer（以下 IE）を起動し、アドレスバーに下記 URL を入力します。

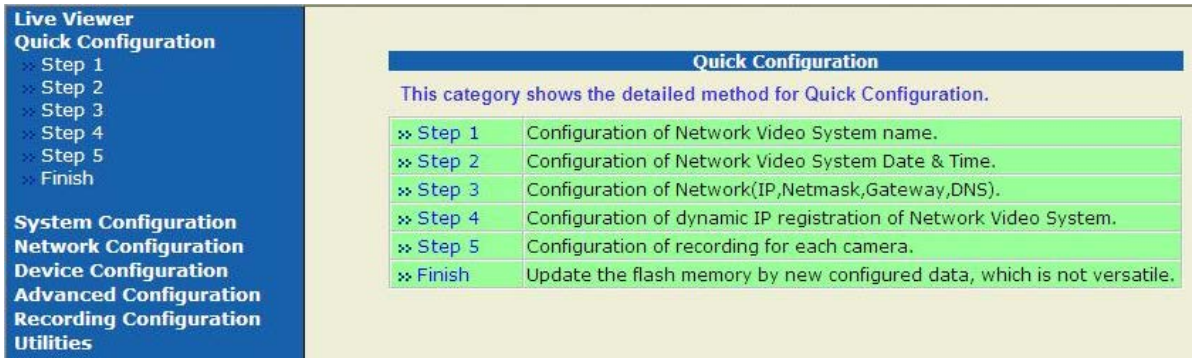
●初期設定では http://192.168.1.100/ です。

②ネットワークパスワードの入力ウィインドが開きユーザー名とパスワードを入力します。

●初期設定ではユーザー名が「root」、パスワードも「root」です。

③入力が終了したら OK をクリックします。ログイン後はユーザー名、パスワードは変更可能です。

ログインが完了すると以下の設定画面が表示されます。画面左側は各設定の大項目でクリックすると右側にその下層の設定項目と説明文が表示されます。（下の画面は "Quick Configuration"の例）



注意:

〇IE のポップアップブロックを解除してください。

〇各種設定がブロクッされ、設定ができないことがあります。

設定画面の構成

設定画面の構成は以下の表のようになっています。

これ以降の設定画面は、IPD-DM11 の場合で説明致します。

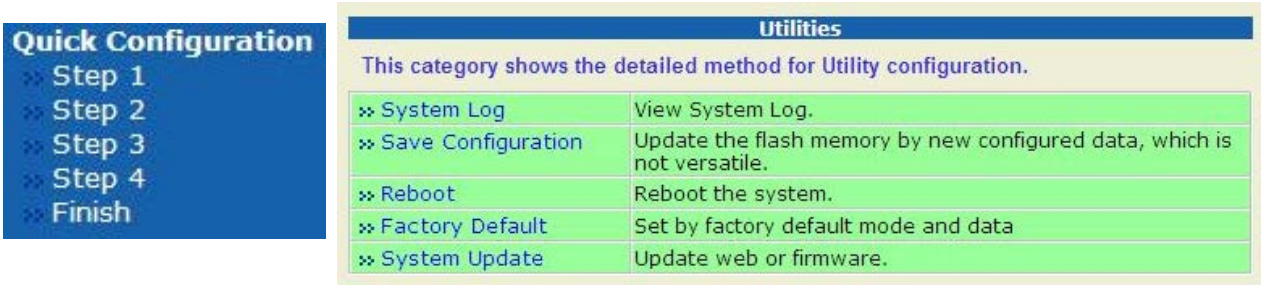
設定大項目	設定項目	サブメニュー1	サブメニュー2
Live Viewer カメラ映像表示	なし	なし	なし
Quick configuration 簡易設定	Step 1	なし	なし
	Step 2		
	Step 3		
	Step 4		
	Step 5 (IPD-DM11,IPD-V11 のみ)		
	Finish		
System Configuration システム設定	Server Name	なし	なし
	Date & Time		
	Admin. Password		
	Access Control		
	User Registration		
Network Configuration ネットワーク設定	Network Configuration	なし	なし
	Network Ports		
	Bandwidth Control		
	View Network Status		
	NetworkStatus Notify		
	IP-CCTV DNS™		
	Port Forwarding & UPnP		
	RTP/RTSP		
	SNMP		
Device Configuration デバイス設定	Serial Ports シリアル　ポート	Serial Input Mode	なし
		Serial Output Mode	
		Transparent Mode	
	Privacy Zone プライバシー域	なし	なし
	Camera & Motion	Camera Control	なし
		Motion Detection	

設定大項目	設定項目	サブメニュー1	サブメニュー2
		Primary Stream	
		Secondary Stream	
	DI/DO	なし	なし
	DI Status / DO Control	なし	なし
Advanced Configuration 高度な設定	Advanced Services	E-mail	Camera 1 Camera 2
		FTP(Buffered)	Camera 1 Camera 2
		FTP(Periodic)	Camera 1 Camera 2
		Sensor Notification	Input 1 Input 2
		Alarm Output	Output 1
Recording Configuration 録画設定 (IPD-DM11 のみ表示)	SD Configuration	SD Status & Format SD Information	無し
	Recording Configuration	Built-in Module 0	Camera 1 Camera 2
	Recording Profile	無し	無し
	Recording Mode		
	SD Status Report		
	Clear Recording Config.		
	Delete Recorded Data		
Utilities 共通設定	Player (IPD-DM11,IPD-V11 のみ)	無し	無し
	System Log		
	Save Configuration		
	Reboot		
	Factory Default		
	System Update		

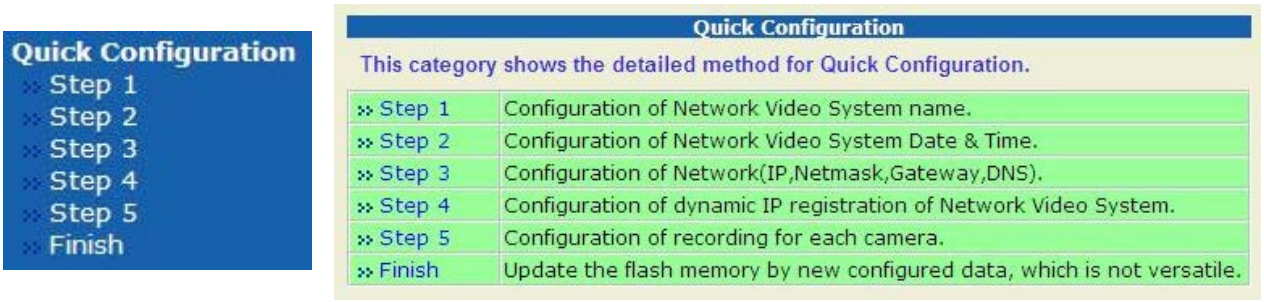
2. Quick Configuration

Quick Configuration は、ネットワークカメラの監視映像を見るために必要な設定を簡単に行なうことが出来ます。Step5 は、IPD-DM11 のみ表示されます。

IPD-BX11



IPD-DM11



2-1.Step 1:Server Name（サーバー名変更）

Step 1 をクリックすると **4-1.Server Name（サーバー名の設定）**の設定画面が表示されます。

2-2.Step 2:Local Date & Time Configuration（日時設定）

Step 2 をクリックすると **4-2.Date & Time（日時設定）**の設定画面が表示されます。

2-3.Step 3:Network Configuration : Static IP（ネットワーク設定 固定 IP）

Step 3 をクリックすると **5-1-1.Static IP（固定 IP アドレス環境設定）**の画面が表示されます。

2-4.Step 4:IP-CCTV DNS Setup（ダイナミック IP アドレス環境での使用の場合）

Step 4 をクリックすると **5-5.Network Status Notification（ネットワーク状況通知）**の画面が表示されます。

2-5.Step 5:Recording Configuration（録画する画質とフレームの設定）

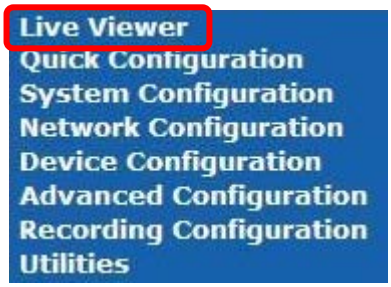
Step 5 をクリックすると **8-2.Recording Configuration（録画設定）**の画面が表示されます。
IPD-DM11 のみの機能ですので IPD-BX11 では、表示されません。

2-6.Finish:Save Configuration（各設定データの保存）

各ステップで保存してください。

3. Live Viewer

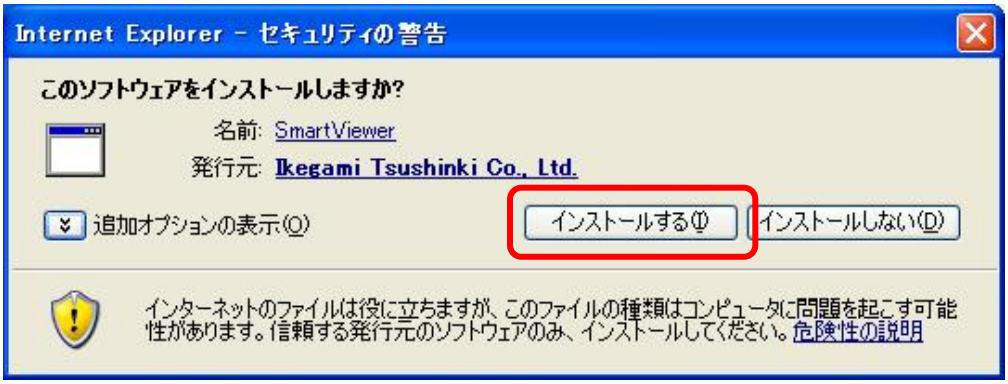
IE で IPD-BX11、IPD-DM11 の映像と音声の制御が可能です。カメラのストリーミングライブ映像表示、ライブ映像のスナップショットと AVI 記録を PC へ保存可能です。カメラ内の Micro SD カード（以下 SD カード）（IPD-DM11 のみ対応）への録画と再生が可能です。



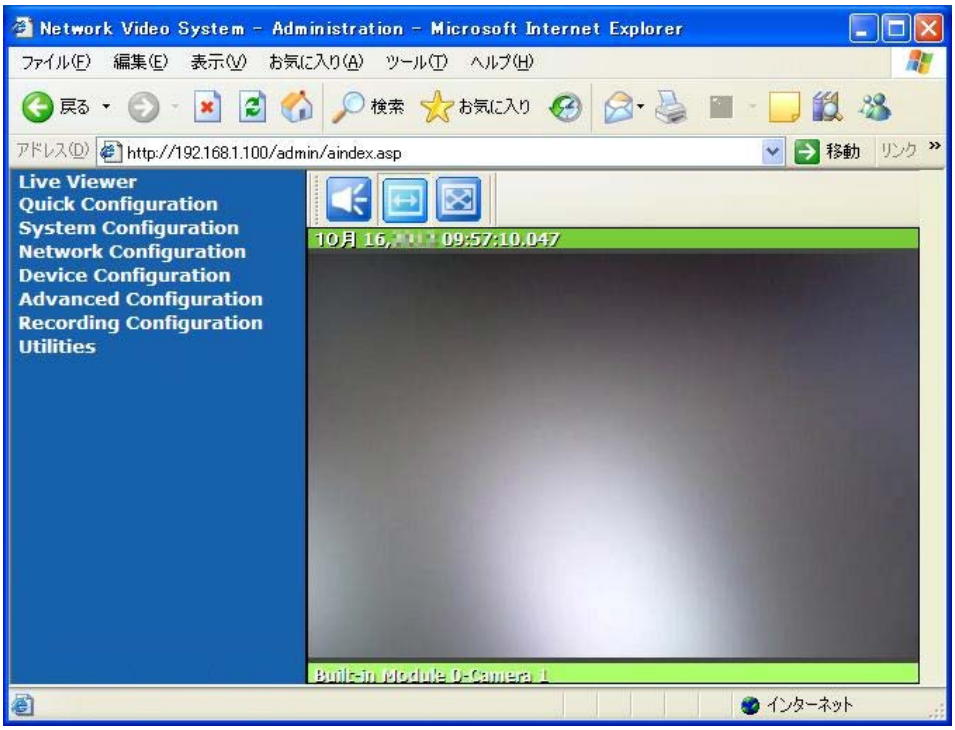
3-1.ActiveX のインストール

IE で**カメラ**に接続し、設定画面の Live Viewer 項をクリックすると以下の画面が表示されます。（ActiveX のインストールの注意が表示される場合は、インストールを選択してください。）

インストールするボタンをクリックしてインストールします。

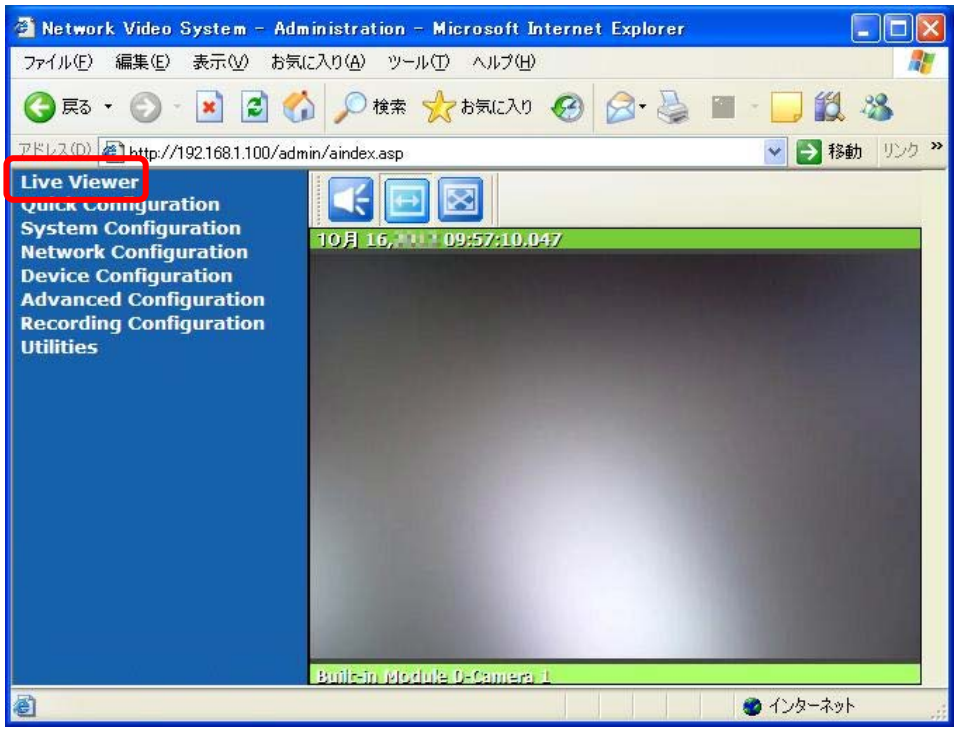


AvtivX のインストールが完了すると、ライブビューアの画面に変わります。



3-2.Live Viewer 画面説明

ActiveX がインストールされている PC では、カメラへログイン後 Live Viewer をクリックすると、以下の画面となりカメラのライブ映像を見ることが出来ます。また、次に操作説明するアイコンやボタンが表示可能となります。



3-3.映像と音声の制御

3-3-1.映像表示と音声制御(音声は IPD-DM11 モデルのみ対応)

アイコンの説明（各アイコンのマウスオーバーで簡易説明が表示されます。）

	オーディオコントロールの表示／非表示 音声コントロールバー表示を ON/OFF します。 IPD-BX11 でも表示されますが、非対応です。
	レシオモード ライブ映像のアスペクト比を維持しながら表示部一杯に表示されます。
	ストレッチモード ライブ映像を表示部一杯に広げて表示します。

音声コントロールバーの操作

IPD-DM11 で音声入力を使用する場合は、接続ボタンをクリックしてください。音声の入出力ボリュームはスライダーつまみを移動することで調整します。右側が最大ボリュームとなります。

ミュートの ON-OFF は**3-3-3.右クリックメニューの 4)ミュート**を参照ください。

音声接続を停止する場合は、切断ボタンをクリックしてください。

接続ボタンをクリックして、下図のアラートが表示された場合は、**6-3-1.Camera & Motion（カメラの配信設定と動き検出設定）**の **Audio** を **Enable** へ設定してください。

3-3-2.マウスオーバーボタン

ライブ映像にマウスオーバーすると画面左上に操作ボタンが表示されます。

IPD-BX11(SD カードスロットなし)と IPD-DM11(SD カードスロットあり)の表示で下の画面ような違いがあります。

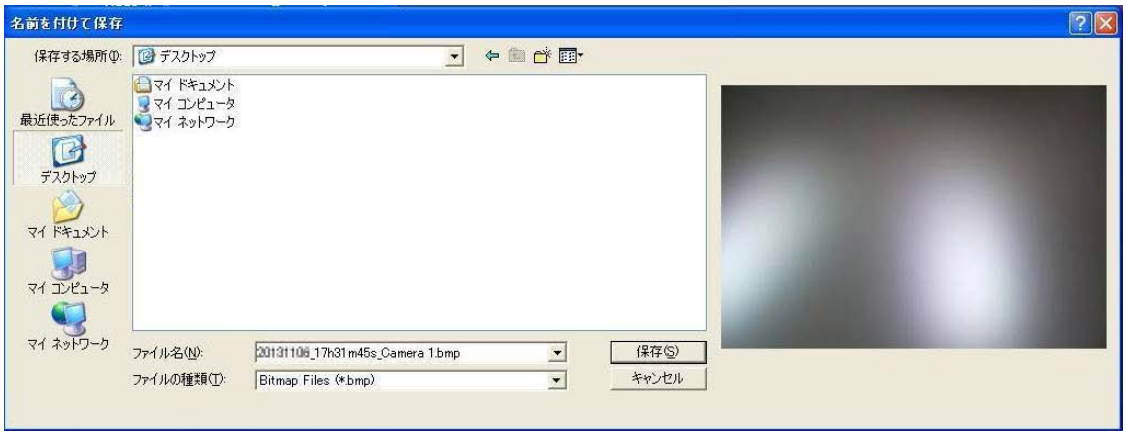
各ボタンはマウスオーバーすると、簡易説明文が表示されます。下の画面は AVI 保存ボタンの表示例です。

IPD-BX11

IPD-DM11

1)スナップショット録画ボタン

ビューア上のストリーム画像を JPEG または BMP フォーマットで静止画保存します。スナップショットボタンをクリックすると下の画面が表示されます。PC への保存場所指定と、ファイルネームを記入して保存ボタンをクリックします。



注意：

ストリーム映像が M-JPEG の場合は JPEG フォーマットになり、H.264 の場合は BMP フォーマットになります。

2)AVI 保存 開始/終了

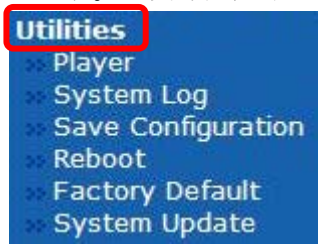
ビューア上のストリーム画像を AVI フォーマットで PC に録画します。操作は録画開始したいタイミングでボタンをクリックし保存場所を指定後、録画停止したい場合に再度ボタンをクリックします。ただし録画時間は最長 10 分間で、10 分間を経過すると録画は自動的に停止します。

> **注意:**
> **H.264 で録画した映像の再生には対応した CODEC が必要です。**

3)サーバー強制録画 開始／終了(IPD-DM11 モデルのみ対応)

IPD-DM11 の SD カードスロットに SD カードが挿入されている場合 (SD カードは付属していません)、このボタン操作で録画が可能です。録画停止には再度ボタンをクリックします。

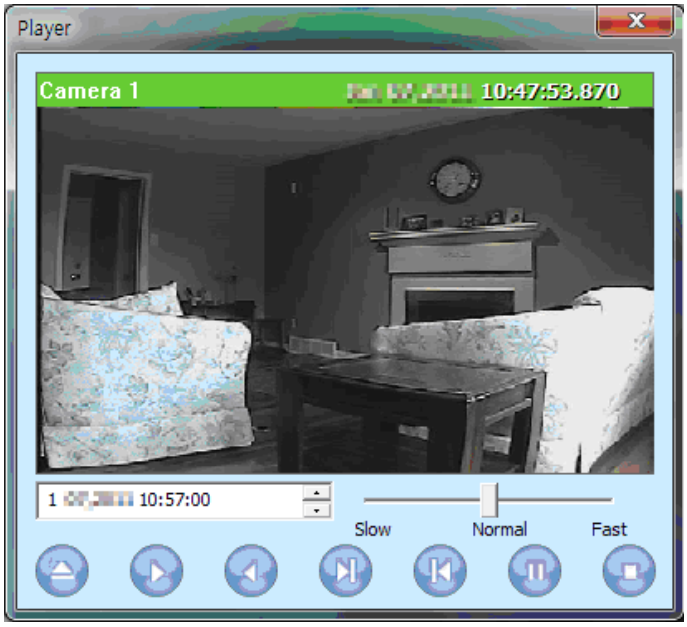
最長録画時間は 1 分間で、録画時間が 1 分間に達すると、自動的に録画停止します。再度録画開始したい場合は、再び録画ボタンをクリックします。最大で 1 分間記録映像のファイルが記録開始、停止の操作ごとに作成されて SD カードに記録されていきます。



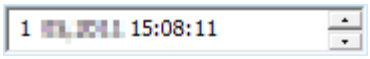
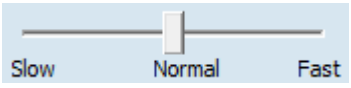
SD カードが挿入されていると Utilities に Player が表示され、録画再生操作が行えます。詳細は、別冊の取扱説明書 (Player 編) を参照してください。

4)簡易再生(IPD-DM11 モデルのみ対応)

IPD-DM11 の SD カード (SD カードは付属していません) に録画された動画をこのボタン操作で再生可能です。再生画像には下図のように、操作ボタンが表示されます。



簡易再生は、再生を開始した時間の 1 分前の録画データを再生します。

	再生する録画開始時間を設定します。
	再生速度を可変します。
	録画データの検索をします。
	再生を開始します。
	逆再生を開始します。
	１クリックごとに１フレームを再生します。
	１クリックごとに１フレームを逆再生します。
	再生を一時静止します。
	再生を停止します。

3-3-3.右クリックメニュー

ライブビューワー画面上でマウスの右クリックをすると、右図の設定メニューウィンドウがポップアップされます。

1)一時停止（ライブ映像の静止）

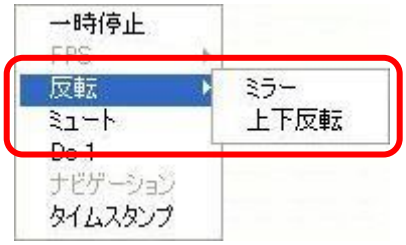
一時停止をクリックするとライブ映像が一時停止されます。再度クリックすると解除されます。

2)FPS（FPS の調整）

非対応の機能です。

3)反転（映像の反転）

画像が反転します。反転にマウスオーバーすると選択画面が表示されます。ミラーで水平方向反転、上下反転で垂直方向反転、ミラーと上下反転の両方選択で 180 度回転します。



4)ミュート(IPD-DM11 モデルのみ対応)

音声出力のオン、オフを行います。カメラの音声設定については **3-3-1.映像表示と音声制御(音声は** IPD-DM11 モデルのみ対応)を参照ください。

5)Do1（アラーム出力設定　IPD-DM11 モデルのみ対応）

アラーム出力の ON/OFF を制御出来ます。

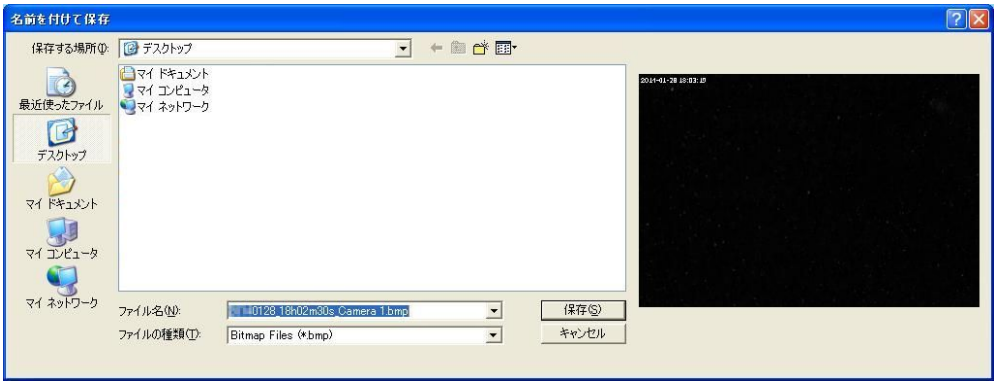
6)ナビゲーション（表示画像ナビ）

非対応の機能です。

7)タイムスタンプ（画面キャプチャ保存）

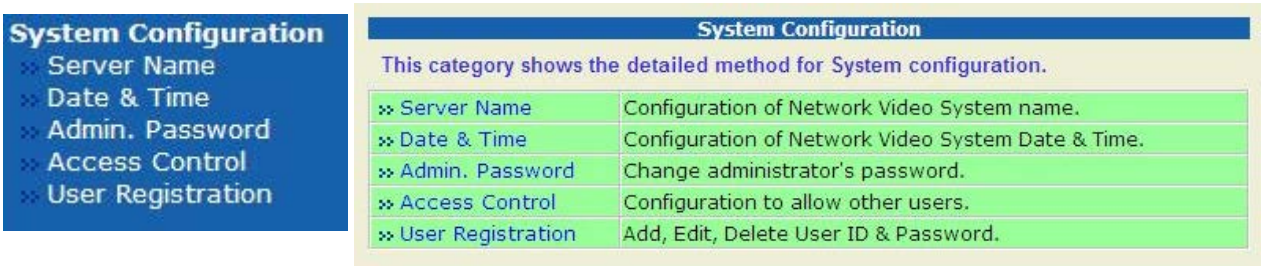
日時付きのライブ画面を保存出来ます。

PC の保存場所の指定とファイルネームを記入して保存ボタンをクリックします。



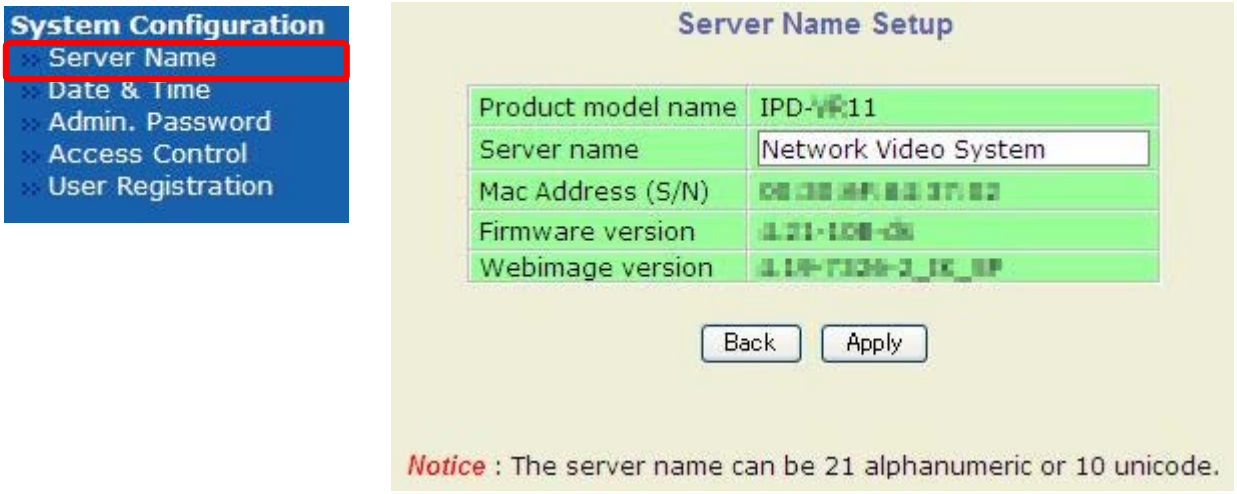
4. System Configuration

System Configuration をクリックすると以下のメニュー画面が表示されます。カメラのシステムに関する設定をすることが出来ます。



4-1.Server Name（サーバー名の設定）

Server Name をクリックすると（**2-1.Step 1:Server Name（サーバー名変更）と同じ**）、以下の Server Name Setup 画面が表示されます。



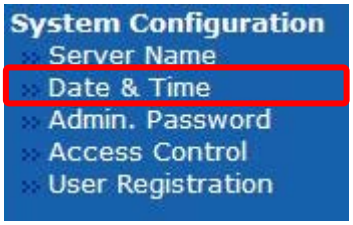
Server name（サーバー名）を変更可能です。英数 21 文字以内または、全角 10 文字以内で入力可能です。他の項目の **Product model name**（形名）、**Mac Address（MAC アドレス）**、**Firmware version（ファームウエアバージョン）**、**Webimage version（Web イメージバージョン）**は変更出来ません。

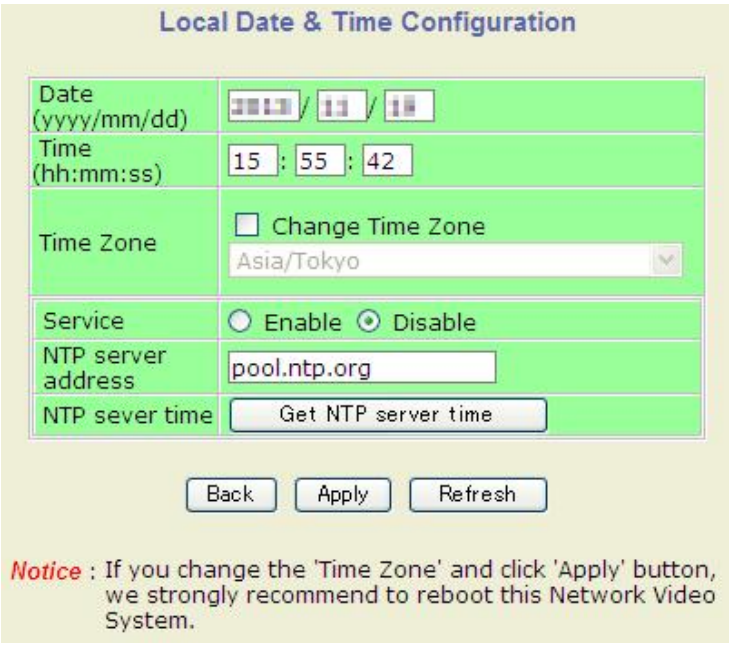
設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

4-2.Date & Time（日時設定）

Time & Date をクリックすると（**2-2.Step 2:Local Date & Time Configuration**（日時設定）と同じ）、以下の日時設定画面が表示されます。





Date(yyyy/mm/dd)	現在の日付を設定します。
Time(hh:mm:ss)	現在の時刻を設定します。
Time Zone	標準時間帯を設定します。
Service	Enable：NTP サーバーから時刻を取得します。 Disable：NTP サーバーを使用しません。
NTP server address	NTP サーバーのアドレスを設定します。
NTP server time	NTP サーバーから時刻を取得し、現在の日時を設定します。

Time Zone(標準時間帯)が異なっている場合は、**Change Time Zone** にチェックを入れ地域を選択後に、日時を設定してください。Apply ボタンをクリックし変更を保存してください。

NTP サーバーから正確な時間を得たい場合は、Get NTP Server Time ボタンをクリックすると、NTP サーバーに同期した時間が設定されます。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

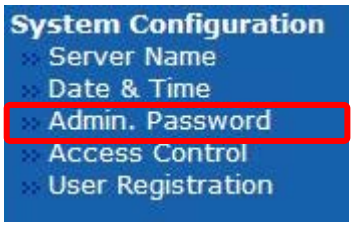
Refresh ボタンをクックすると、表示が更新されます。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

注意：
NTP サーバーから時刻情報を得る場合は、事前に NTP サーバーのアドレスを設定してください。
上記アドレスは pool.ntp.org です。

4-3.Admin. Password（管理者パスワード）

Admin. Password をクリックすると下の画面が表示され管理者パスワードが変更可能となります。



Administrator's ID	**"root"に固定されており変更はできません。**
Old Password	現在のパスワード（**工場出荷設定は"root"**）を入力してください
New Password	新しい同じパスワードを英数字 4～23 文字以内で入力してください。
Confirm Password	IE のログインと RTSP ストリーミング認証のパスワードへ反映されます。

新パスワード設定後は Apply ボタンをクリックし、保存してください。

> 注意:
> **管理者用の新パスワード設定後は、旧パスワードでログインしたカメラは全てログアウトしますので、再度新パスワードにてログインを行なってください。**

4-4.Access Control（サーバーアクセス管理）

Access Control をクリックすると以下の画面が表示されます。

Access Control Configuration
Access Permission
Full Access (View and control camera & audio without permission)
Limited Access (In accordance with an user's permission)
Back
Apply

Full Access	RTSP ストリーミングにて、総てのユーザーがアクセス可能になり、システムの全機能を使用可能です。
Limited Access	RTSP ストリーミングにて、登録されたユーザーのみアクセス可能で、限定されたシステム機能が使用可能になります。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

> 注意:
> **〇本設定をしないと、4-5-1.Add（新規登録）の System Resource Access Permission で設定ができませんので注意してください。**

4-5.User Registration（Limited Access にアクセス可能なユーザー登録）

本機能は、表示されていますが機能しません

User Resistration をクリックすると設定画面が表示されます。

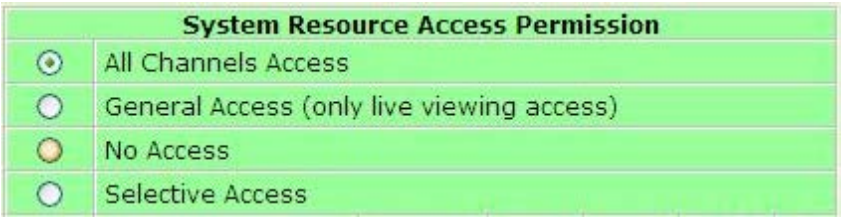
RTSP ストリーミングにて **Limited Access** にアクセス可能なユーザーの新規登録、削除、変更ができます。

4-5-1.Add（新規登録）

設定画面で **Add** を選択すると以下の画面が表示され、新規ユーザー登録が行えます。

User ID	23 文字以内で英数字を設定してください。
Password	同じ英数字を 4～23 文字以内で設定してください。
Confirm Password	
Name	ユーザー名を英数字 31 文字以内または、全角 15 文字以内で設定してください。

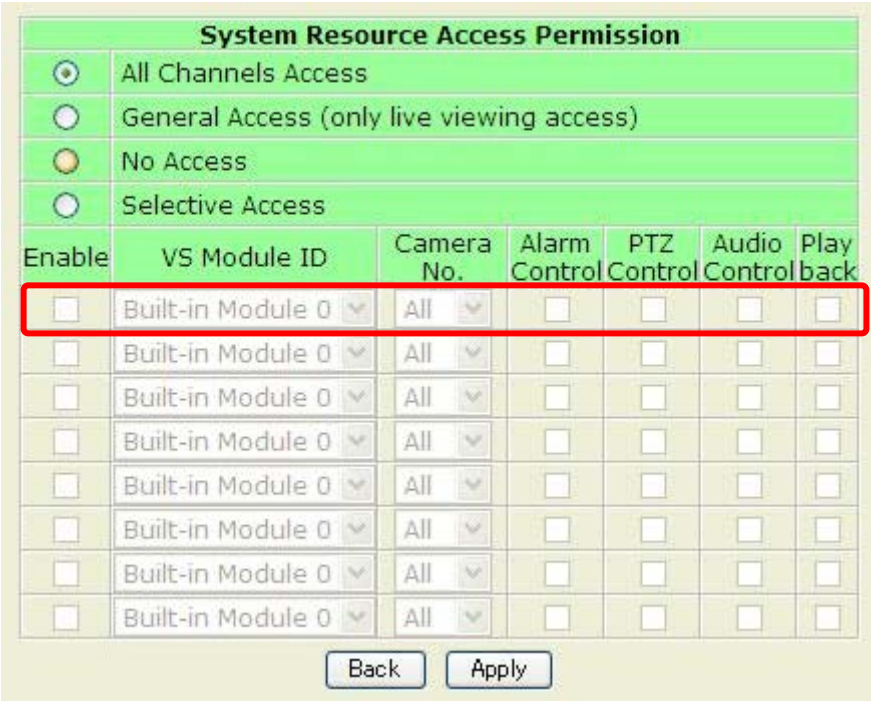
次に **System Resource Access Permission**（システムへのアクセス権）を 4 項目から選択します。



All Channels Access	登録ユーザーに管理者設定項以外の総ての機能を利用可能にします。
General Access (only live viewing access)	登録ユーザーはライブ映像のみ利用可能にします。
No Access	登録ユーザーは何も利用できないようにします。
Selective Access	以下の画面に表示されている **Enable** にチェックされた機能を利用可能です。

注意:

RTSP ストリーミングの登録ユーザーは本画面で設定可能ですが、有効にするには **4-4.Access Control（サーバーアクセス管理）** で **Limited Access** の選択が必要です。



VS Module ID	Built-in Module0 が設定されています。
Camera No	Camera No.1 が Primary Stream、Camera No.2 が Secondary Stream、All が両方に設定したアクセス権が適用されます。
Alarm Control	アラームコントロール部へのアクセス権を設定します。
PTZ Control	PTZ コントロール部へのアクセス権を選択します。（非対応の機能です）
Audio Control	音声制御部のアクセス権を設定します。（IPD-DM11 のみ）
Playback	記録映像の検索再生操作部へのアクセス権を設定します。 （IPD-DM11 のみ）

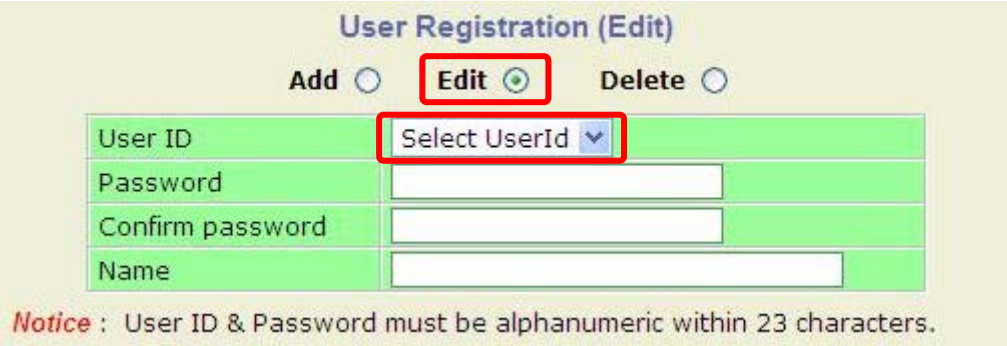
以上でユーザーの新規登録が終わり、Apply ボタンをクリックしてユーザーを追加してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

4-5-2.Edit（ユーザー登録内容変更）

Edit を選択すると以下の画面となり、RTSP ストリーミングのユーザー名、パスワード、サーバーアクセス名を変更可能です。

登録済みの User ID は変更できませんので変更したい場合は、変更したい User ID を **Deleat**（削除）後に、新たに User ID を **Add**（新規登録）で登録してください。



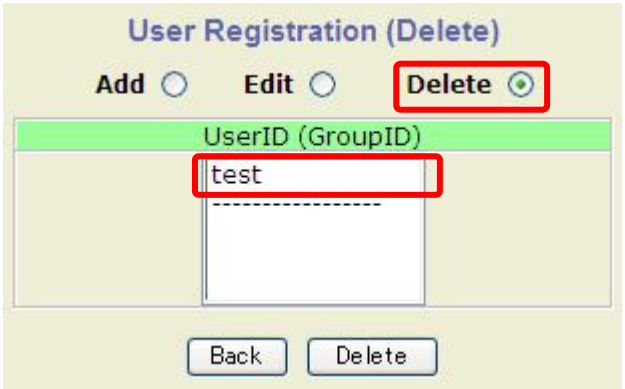
User ID	**Select UserID** クリックし、変更したい User ID を選択します。
Password	同じ英数字を 4～23 文字以内で設定してください。
Confirm Password	
Name	ユーザー名を英数字 31 文字以内または、全角 15 文字以内で設定してください。

設定後、Apply ボタンをクリックし変更を保存します。

4-5-3.Delete（削除）

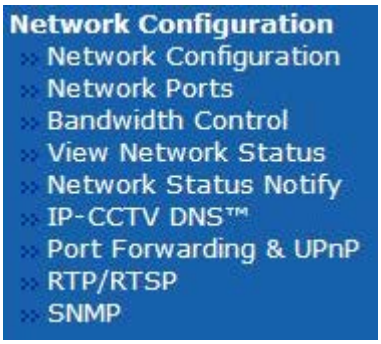
Delete を選択すると以下の画面となります。

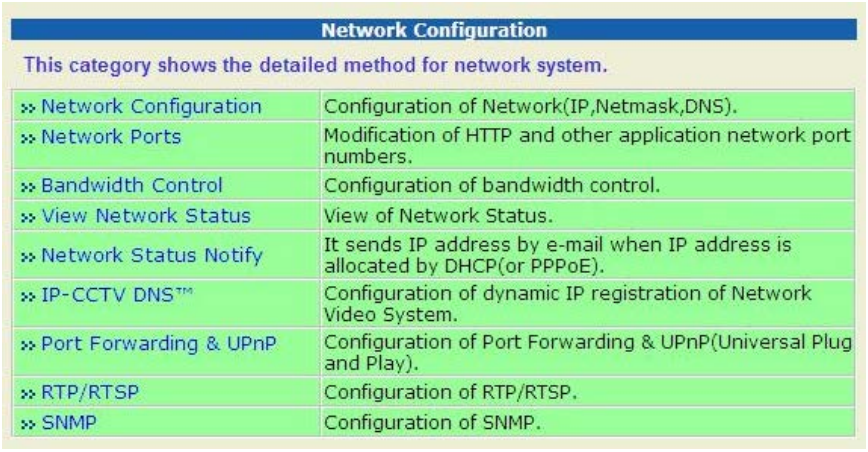
削除したい RTSP ストリーミングの **User ID** を選択後に Deleat ボタンをクリックして削除します。



5. Network Configuration

Network Configuration をクリックすると以下右側のメニューが表示されます。ネットワークに関する設定をすることが出来ます。




Network Configuration
This category shows the detailed method for network system.
Network Configuration
Configuration of Network(IP,Netmask,DNS).
Network Ports
Modification of HTTP and other application network port numbers.
Bandwidth Control
Configuration of bandwidth control.
View Network Status
View of Network Status.
Network Status Notify
It sends IP address by e-mail when IP address is allocated by DHCP(or PPPoE).
IP-CCTV DNS™
Configuration of dynamic IP registration of Network Video System.
Port Forwarding & UPnP
Configuration of Port Forwarding & UPnP(Universal Plug and Play).
RTP/RTSP
Configuration of RTP/RTSP.
SNMP
Configuration of SNMP.

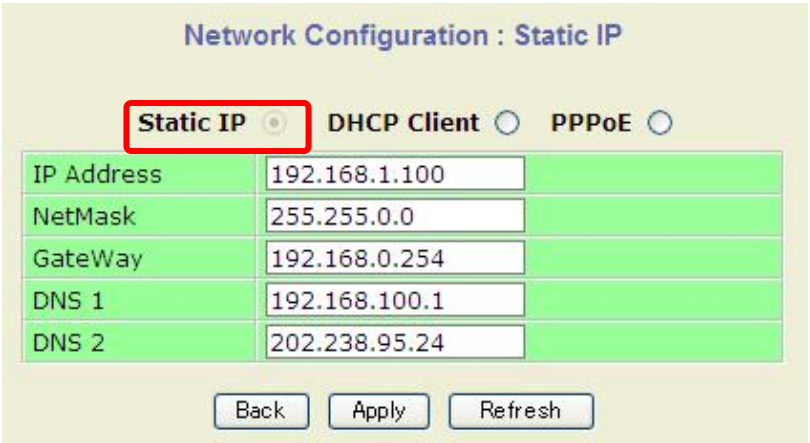
ネットワークの設定は、事前にネットワーク管理者に確認してください。

5-1.Network Configuration（固定 IP アドレス、DHCP クライアント、PPPoE の設定）

Network Configuration をクリックすると（**2-3.Step 3:Network Configuration：Static IP（ネットワーク設定 固定 IP）と同じ**）以下の設定画面が表示されます。

5-1-1.Static IP（固定 IP アドレス環境設定）

設定画面で Static IP を選択すると固定 IP アドレスの設定が可能になります。



設定完了後 Apply ボタンをクリックすると IP アドレスを適用するために、ブラウザを閉じるよう確認されます。再起動には 1-2 分かかります。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

Refresh ボタンをクックすると、現在カメラに登録されている IP アドレスが表示されます。

5-1-2.DHCP Client（DHCP 環境設定）

IP アドレスを自動的に取得する場合は、**DHCP Client** を選択してください。
設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

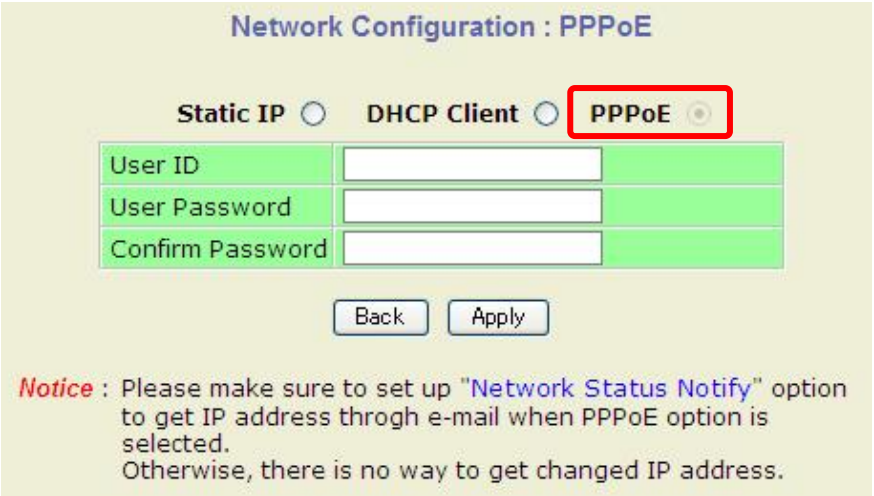
Network Configuration : DHCP Client
Static IP
DHCP Client
PPPoE
Back
Apply
Notice : Please make sure to set up "Network Status Notify" option to get IP address throgh e-mail when DHCP option is selected.

注意：
サポート対象外ですが、DHCP Client を選択した場合は、IP アドレスが変更されたことを監視する必要があるため、変更後の IP アドレスを E-Mail で通知する機能（5-5.Network Status Notification（ネットワーク状況通知））があります。

5-1-3.PPPoE（PPPoE 環境設定）

本機能は、サポート対象外です

PPPoE は主に ADSL や CATV の常時接続環境にて使用され、ID とパスワードの認証が必要になります。設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。


Network Configuration : PPPoE
Static IP
DHCP Client
PPPoE
User ID
User Password
Confirm Password
Back
Apply
Notice : Please make sure to set up "Network Status Notify" option to get IP address throgh e-mail when PPPoE option is selected.
Otherwise, there is no way to get changed IP address.

注意：
サポート対象外ですが、DHCP Client を選択した場合は、IP アドレスが変更されたことを監視する必要があるため、変更後の IP アドレスを E-Mail で通知する機能（5-5.Network Status Notification（ネットワーク状況通知））があります。

5-2.Network Ports（ネットワークポート設定）

Network Ports をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

本設定はクライアント PC とカメラの映像配信で使用するネットワークポート番号を設定します。

ポート番号はデフォルト 80 です。80～65535 までのポート番号を設定可能です。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

注意：

HTTP ポートをデフォルトの 80 番以外に変更した場合は、接続 URL にポートの指定が必要です。

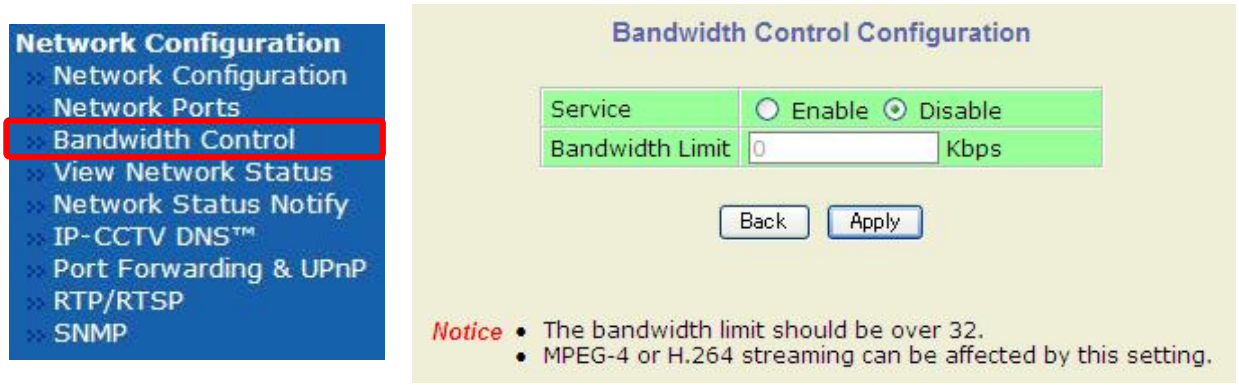
以下のような形式で入力してください。

http://[カメラの IP アドレス] : [HTTP ポート番号] /

例えば本カメラの IP アドレスが 192.168.1.00、HTTP ポート番号を 8080 に変更した場合の URL は http://192.168.1.100:8080/ となります。

5-3.Bandwidth Control（映像配信ビットレート設定）

Bandwidth Control をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



ネットーワークの最大配信ビットレートを設定します。本設定を超えた帯域は強制的にカットされます。複数のユーザーからの配信要求に対しても設定したビットレートが適用されます。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

注意：

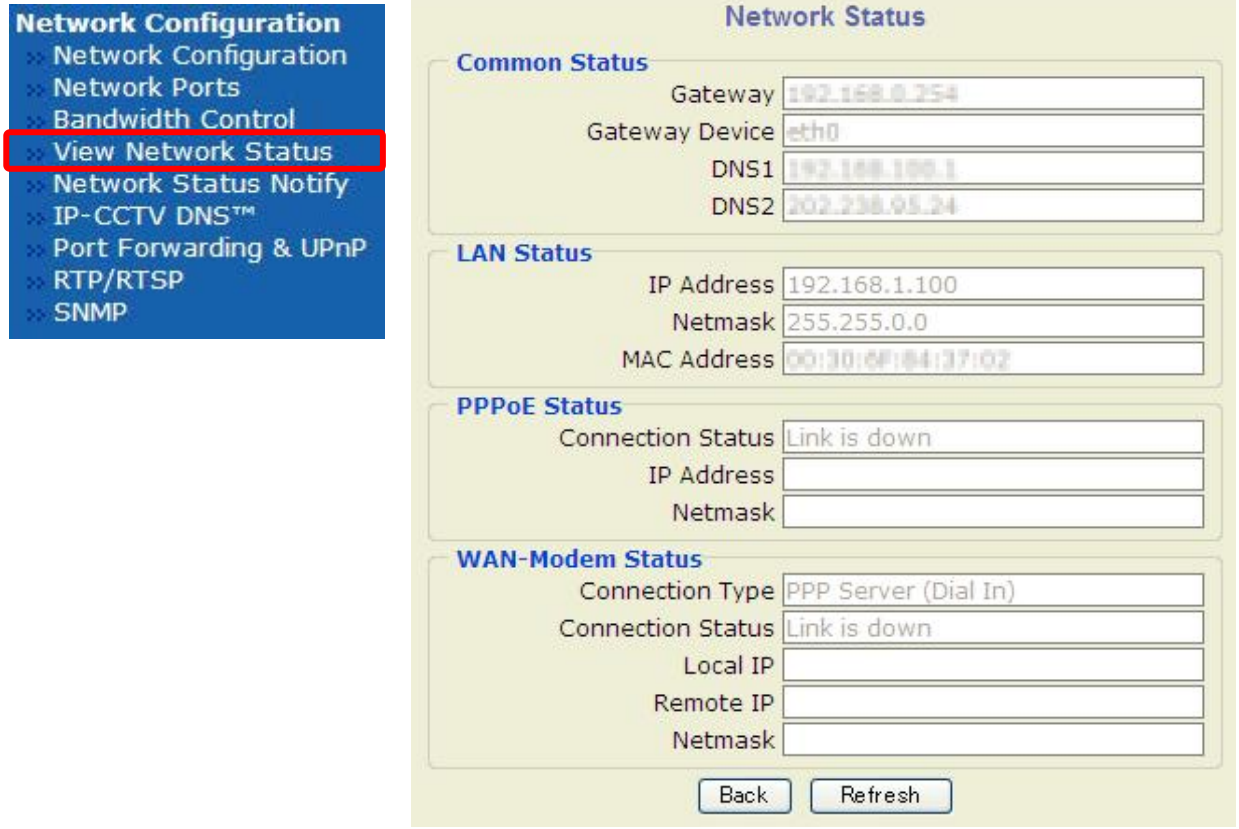
〇H.264 で悪影響が出る場合が有りますので、32Kbps 以上で設定してください。

〇本設定は M-JPEG での配信に効果的に機能します。

〇本設定は映像ビットレートがオーバーした場合に制限がかけられ、映像以外のデータパケットが失われる可能性があります。そのため、本カメラへの接続に時間がかかる場合があります。

5-4.View Network Status（ネットワーク接続状況表示）

View Network Status をクリックすると以下の確認画面が表示され、ネットワークの接続状況が確認できます。



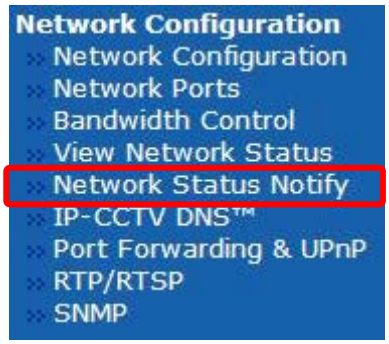
Refresh ボタンをクックすると、表示が更新されます。

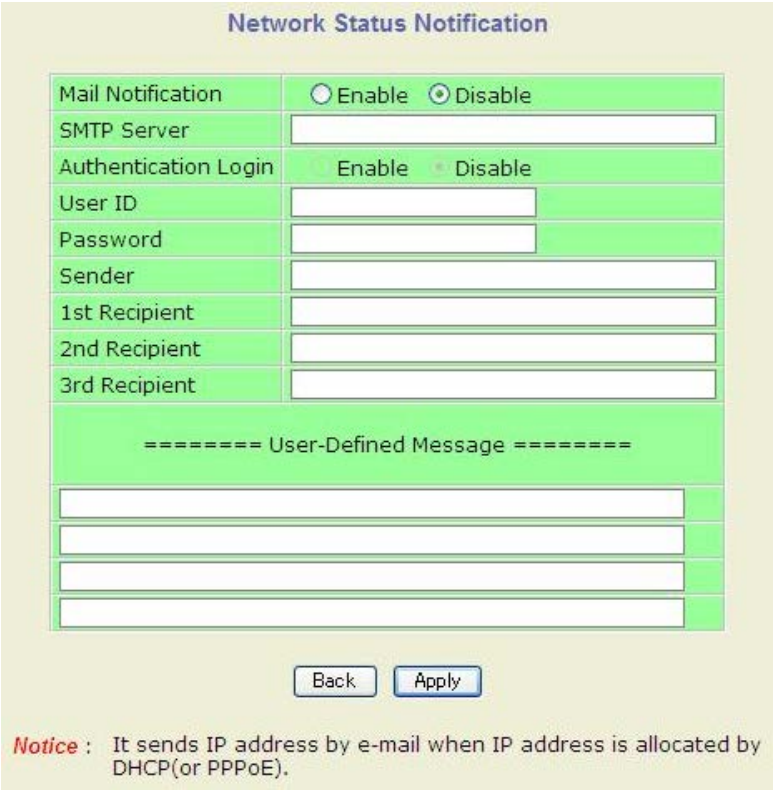
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

5-5.Network Status Notification（ネットワーク状況通知）

本機能は、サポート対象外です

Network Status Notification をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





ネットワークの接続状況に変化があった場合に、指定した E-mail アドレスにメールを送信します。DHCP または PPPoE 環境にて機能します。設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

メールを送信する条件は、下記の通りです。

○**5-6.IP-CCTV DNS Setup（IP-CCTV DNS 設定）**が設定されていること。

○**5-1-2.DHCP Client（DHCP 環境設定）**が設定され、新しい IP アドレスがカメラに付与された。

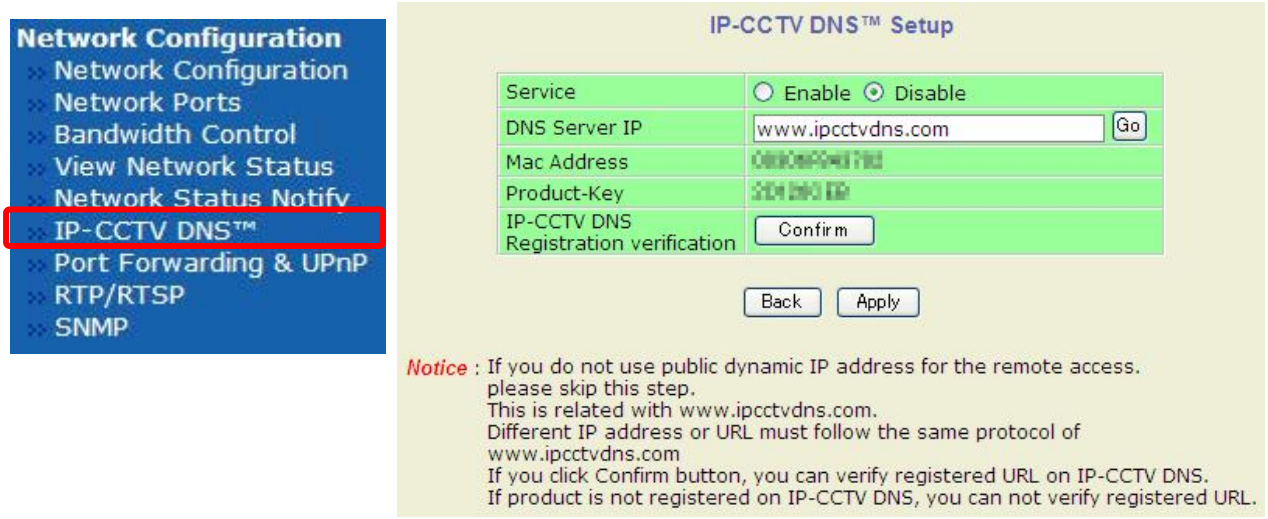
○**5-1-3.PPPoE（PPPoE 環境設定）**設定され、ISP(インターネットサービスプロバイダ)または PPP サーバーから新しい IP アドレスがカメラに付与された。

Mail Notification	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
SMTP Server	SMTP サーバーの IP アドレスを設定します。
Authentication Login	SMTP サーバーにアクセス認証が必要な場合は Enable を選択します。
User ID	ユーザーID を設定します。
Password	パスワードを設定します。
Sender	送信者の E-mail を設定します。
1st～ 3rd Recipient	受信者の E-mail アドレスを 3 アドレスまで設定できます。
User Defined Message	メールの本文

5-6.IP-CCTV DNS Setup（IP-CCTV DNS 設定）

本機能は、サポート対象外です

IP CCTV DNS をクリックすると（**2-4.Step 4:IP-CCTV DNS Setup（ダイナミック IP アドレス環境での使用の場合）と同じ**）以下の設定画面が表示されます。



IP-CCTV DNS サービスは、固定 IP アドレスがなくてもカメラへのアクセスが可能となります。IP CCTV DNS サービスからドメイン名を提供され、カメラの IP アドレスが変更されてもカメラに接続することが可能となります。

本機能を使用するためには、IP カメラの MAC アドレスと Product Key（製品キー）を登録し、ID を IP-CCTV DNS server（http://www.ipcctvdns.com）から取得する必要があります。

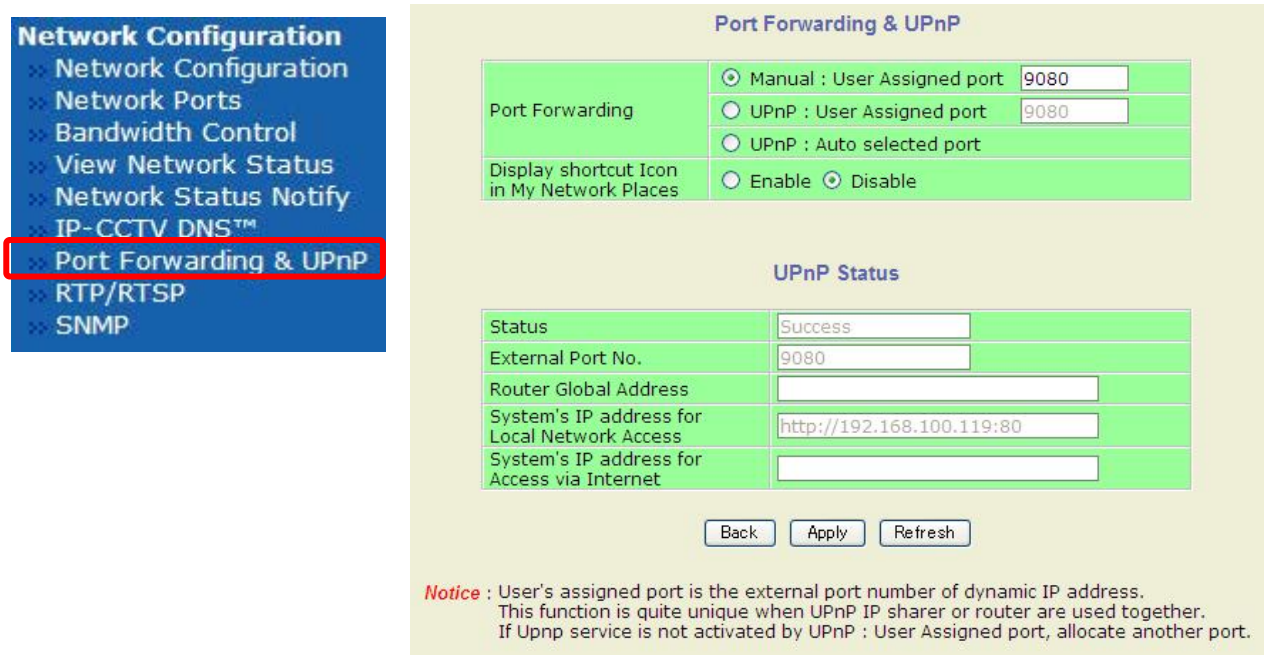
登録後、Service を Enable へ変更し、Apply ボタンをクリックすると登録情報が表示されるので、確認後 Confirm ボタンをクリックします。

注意：
〇本機能を使用しない場合は設定しないでください。
〇Confirrm ボタンで提供されたドメイン名が確認できます。
〇MAC アドレスと Product Key を登録し ID を入手しないと登録情報は確認できません。

5-7.Port Forwarding & UpnP（ポートフォワーディングと UPnP）

本機能は、サポート対象外です

Port Forwading & UpnP（Universal Plug and Play）をクリックすると以下の設定画面が表示されます。


Network Configuration
Network Configuration
Network Ports
Bandwidth Control
View Network Status
Network Status Notify
IP-CCTV DNS™
Port Forwarding & UPnP
RTP/RTSP
SNMP
Port Forwarding & UPnP
Port Forwarding
Manual : User Assigned port 9080
UPnP : User Assigned port 9080
UPnP : Auto selected port
Display shortcut Icon in My Network Places
Enable Disable
UPnP Status
Status Success
External Port No. 9080
Router Global Address
System's IP address for Local Network Access http://192.168.100.119:80
System's IP address for Access via Internet
Back Apply Refresh
Notice : User's assigned port is the external port number of dynamic IP address.
This function is quite unique when UPnP IP sharer or router are used together.
If Upnp service is not activated by UPnP : User Assigned port, allocate another port.

外部からインターネット回線等を利用してアクセス可能なように、ネットワークポートを自動的に割り当てる機能です。

UPnP ポートフォワーディングには次の 3 モードから選択してください。

○Manual：User Assigned Port

カメラとルーターのポート番号を手動で登録したい場合に使用します。

○UPnP: User Assigned Port

カメラで手動設定したポート番号を、ルーターに自動登録させたい場合に使用します。

接続が失敗する場合はポート番号を変えてください。

○UPnP: Auto Selected Port

カメラとルーターのポート番号を自動登録させたい場合に使用します。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Refresh ボタンをクックすると、設定前の値に戻ります。

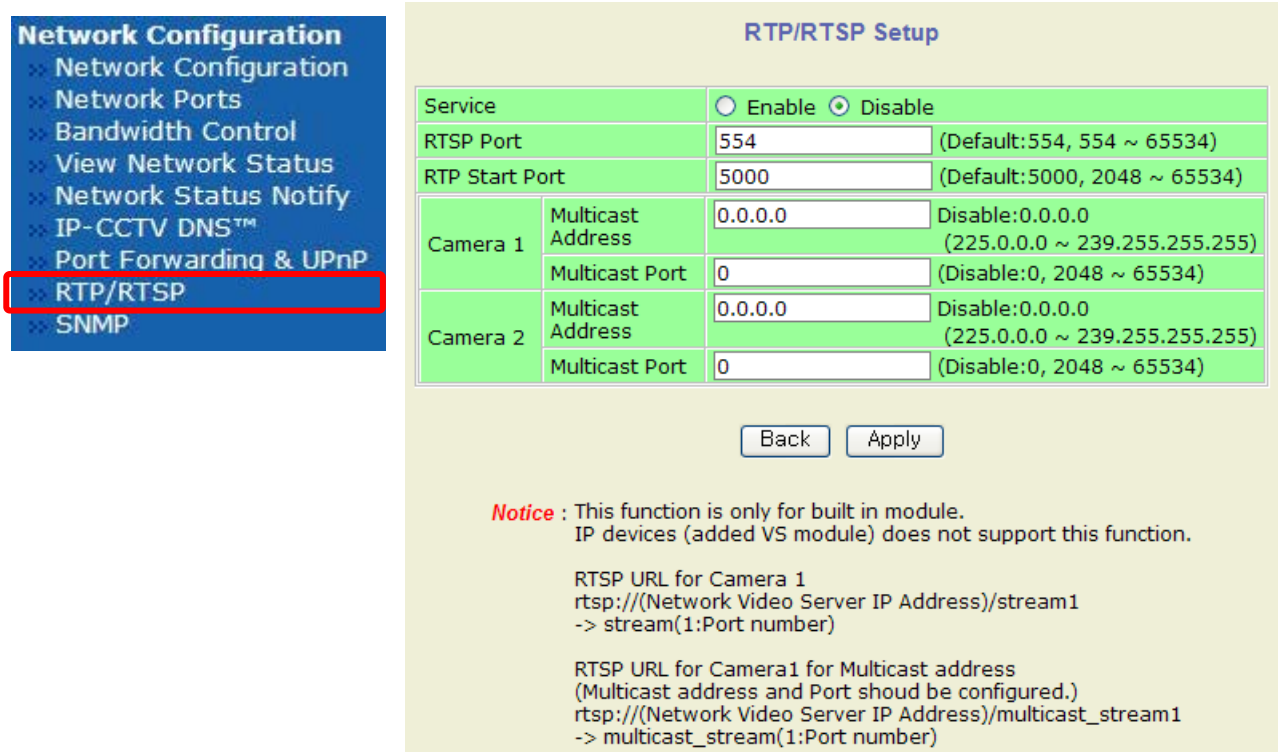
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

注意:

ルーターが UPnP ポートフォワーディングを実行している場合は、UPnP の接続デバイス数に制限があります。接続状況は設定画面の UPnP Status に表示されます。

5-8.RTP/RTSP（RTP/RTSP ストリーム配信設定）

RTP/RTSP をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



カメラから配信される映像と音声(IPD-DM11 カメラのみ音声機能あり)の RTP と RTSP を設定することが出来ます。

Service	Enable：RTSP サービス開始 Disable：RTSP サービス停止 ONVIF プロトコルを使用する場合は、RTP/RTSP を Enable に設定してください。
RTSP Port	初期設定値 554 のポート番号を推奨します。デフォルトを使用しない場合は下の例のようにポート番号を入力します。 例）445 ポートの場合　rtsp://192.168.100:445/stream1
RTP StartPort	RTP　ポートの開始番号を設定します。 クライアントからの接続数が増加する度に、ポート番号は増えます。
Multicast Address	マルチキャスト配信のアドレスを設定します。 アドレス“0.0.0.0”はマルチキャストが停止します。
Multicast Port	マルチキャストポート番号を設定します。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

下記の 2 種類のストリーム配信設定ができます。
カメラに設定されているデフォルトの IP アドレス 192.168.1.100 の場合で説明します。

Unicast Address（ユニキャストアドレス）

Primary Stream	rtsp://192.168.1.100/stream1
Secondary Stream	rtsp://192.168.1.100/stream2

Multicast Address（マルチキャストアドレス）

PrimaryStream	rtsp://192.168.100/multicast_stream1
Secondary Stream	rtsp://192.168.100/multicast_stream2

5-9.SNMP

SNMP をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

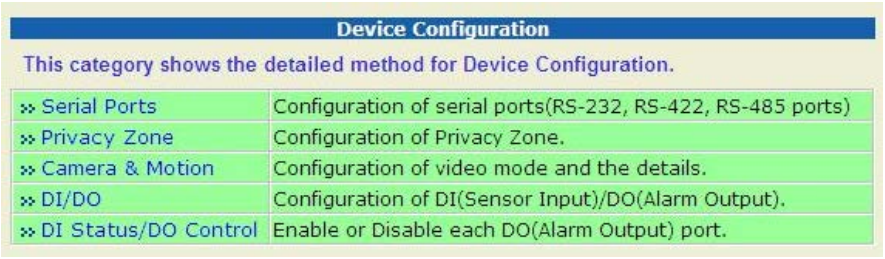
ネットワーク状態の監視が可能となります。SNMP V1/ V2 は MIB2(Management Information Base)をサポートしますが、いくつかの機能がサポートされません。

SNMP V1/V2	Enable：SNMP サービス開始 Disable：SNMP サービス停止
Trap	Enable：SNMP Trap サービス開始 Disable：SNMP Trap サービス停止
Destination IP Address	SNMP Trap 通知を受ける機器の IP アドレスを設定します。
Trap Community	SNMP Trap 通知を受ける為の認証文字列を指定します。例.) public
Available Traps	Cold Start：初期化が実行された時に送信します。 Authentication Failure：認証入力が誤りと判断された時に送信

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

6. Device Configuration

Device Configuration をクリックすると以下の設定画面が表示されます。プライバシーマスク、映像データフォーマット、動き検出、アラームの入出力等を設定することが出来ます。



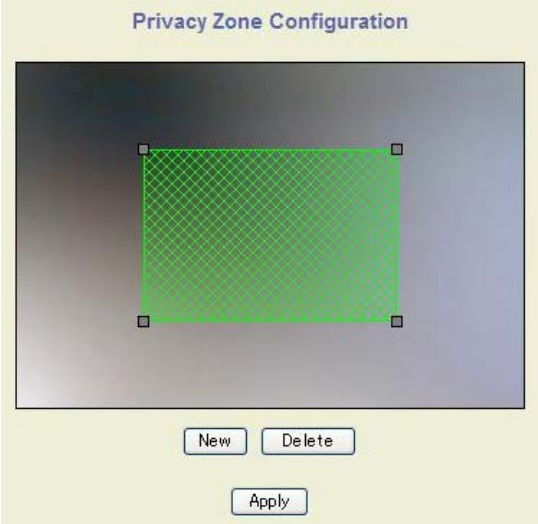
6-1.Serial Ports（シリアルポート）

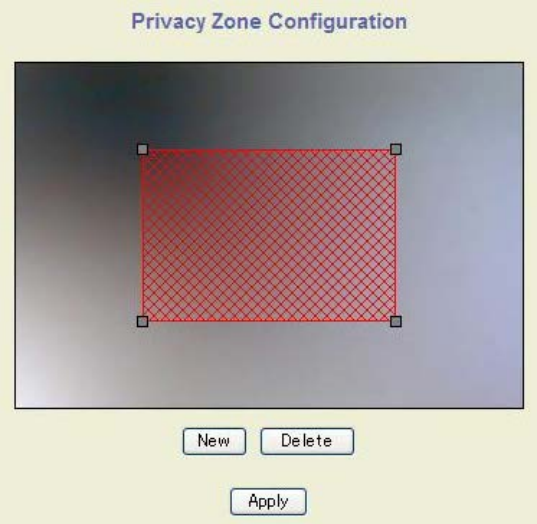
本機能は、メニューに表示されていますが機能しません

6-2.Privacy Zone（プライバシーマスク設定）

カメラに表示させたくない部分がある場合は、その部分をマスク処理し表示されないようにします。

Privacy Zone をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

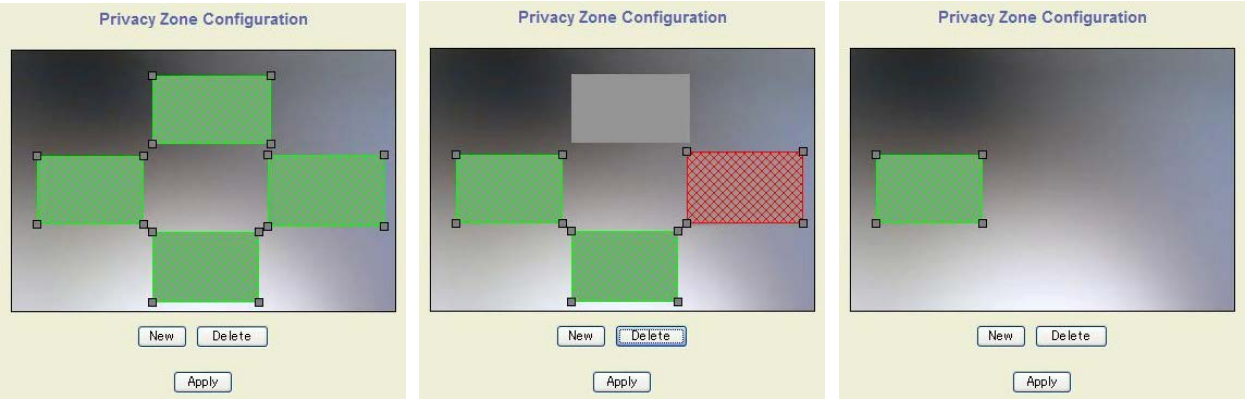




6-2-1.プライバシーマスク追加

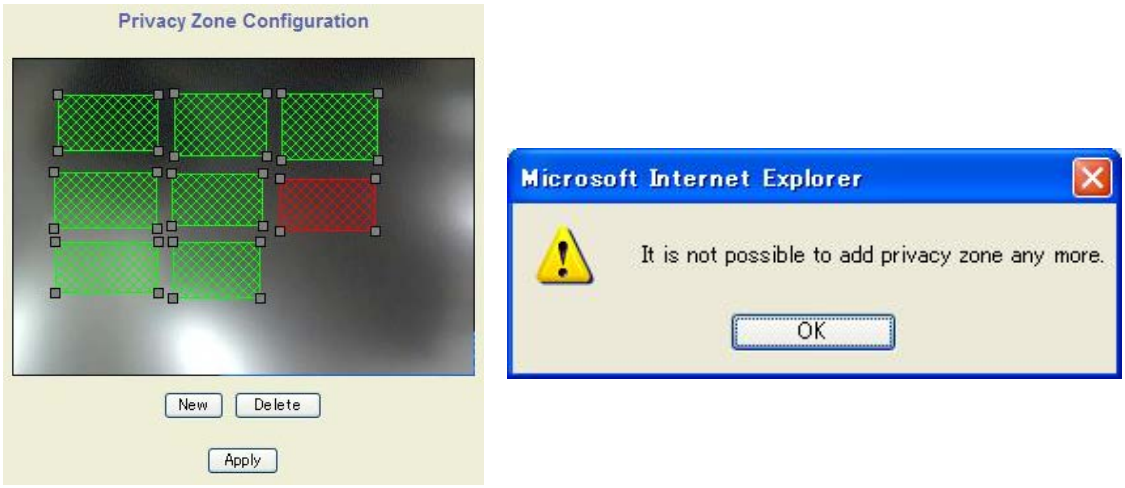
マスク処理エリアは、上の画面のように表示されます。New ボタンをクリックすると追加で緑色のマスク処理エリアが表示され、クリックすると赤色に変わりエリアを可変できるようになります。画面上で位置と大きさを設定し Apply ボタンを押すとマスク処理エリアは赤色から緑色に変わり設定が完了します。

6-2-2.プライバシーマスク削除



上の画面は設定済のマスク処理エリアを削除しているものです。削除したいマスク処理エリアをクリックし赤色にて選択します。Delete ボタンで灰色表示させ、Apply ボタンで削除を実行します。

6-2-3.プライバシーマスクエリア最大数



マスク処理エリアを 8 個以上設定しようとすると、上のように警告が表示され設定できません。

6-3.Camera & Motion（カメラの配信設定と動き検出設定）

カメラから配信される映像フォーマット、重畳データの設定、解像度、画質、音声（IPD-DM11 のみ）、動き検出などの設定が出来ます。

カメラの映像配信には以下の圧縮方式があります。

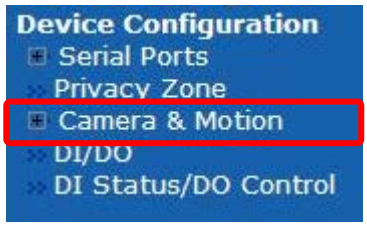
H.264　：M-JPEG より高い圧縮が可能で映像配信には適していますが、配信回線の状態が悪化した場合フレーム落ちなどがあり、画質劣化が起こります。P フレーム数（I フレームとは独立して設定します）をカメラで設定できます。

M-JPEG：H.264 より広い通信帯域が必要ですが、レートが高い分画質に優れ、映像の記録再生に適したフォーマットです。

注意：
Secondary Stream は、Primary Stream より設定の制約が多くなります。

6-3-1.Camera & Motion（カメラの配信設定と動き検出設定）

カメラの配信設定を下の設定画面で行います。



Default Video Format	NTSC または PAL が選択されます。
Video with Flexible Extra System data	COM ポートからの Flexible Extra Data が映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Video with user defined message	ユーザーが定義したメッセージデータが映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Video with PPP status	PPP 接続・状況データが映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Video with camera name	カメラ名が映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Video with server name	サーバー名が映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Video with IP address	IP アドレスが映像データに重畳されます。（未実装の機能です）
Audio	Primary Stream の音声の送受信が可能となります。カメラ側にマイクとスピーカーが必要です。音声は PC のスピーカーで聞くことが出来ます。（IPD-DM11 のみの機能です）
Frame Rate	Primary Stream の映像フレーム数を設定します。Secondary Stream のフレーム数は、Primary Stream 以下で設定してください。（設定値：1fps, 2 fps, 3 fps, 5 fps, 10 fps, 15 fps, 30 fps）
Image Size	Primary Stream と Secondary Stream のエンコードサイズを選択します。（設定値：160x112/160x144, 320x240/320x288, 640x480/640x576, 704x480/704x576,720x480/720x576）
Encoding Standard	Primary Stream と Secondary Stream のエンコード方式を M-JPEG と H.264 から選択します。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

6-3-2.Camera Control（カメラ設定）

Camera Control をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

Menu Enter ボタンをクリックすると SETUP MENU が表示されます。D/N,AGC, AWB 等のカメラの設定が可能です。

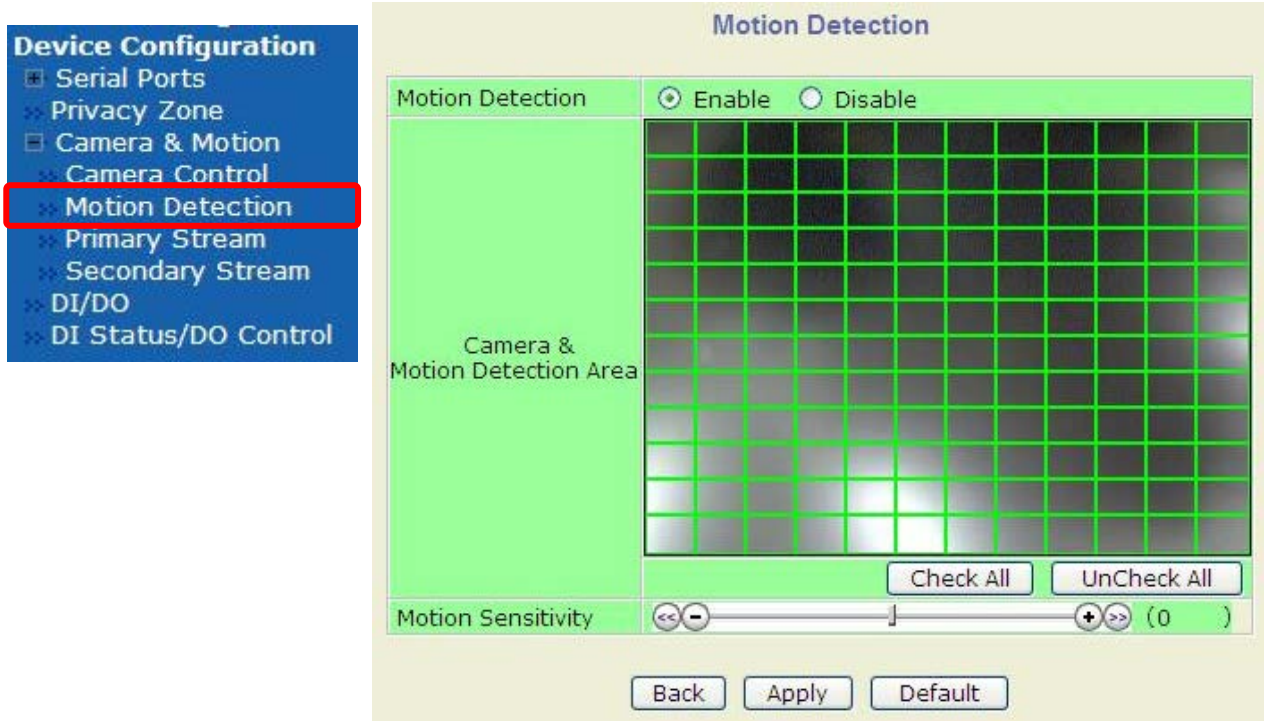
設定は Up・Down・Left・Right・Enter の各ボタンで行います。

設定方法の詳細は、付属の取扱説明書（導入編）を参照してください。

注意:
設定完了後、再度設定メニューに入る場合は、SETUP MENU が消えてからから 2 秒以上待ち、
Menu Enter ボタンをクリックしてください。

6-3-3.Motion Detection（動き検出機能）

Motion Detection をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



Primary Stream のみ動き検出機能が動作します。

検知域を 12×12 の分割エリアから選択し設定します。

Motion Detection	Enable：動き検出機能が有効 Disable：動き検出機能が停止
Check All	全エリアを動き検出エリアとして設定します。
UnCheck All	全エリアを動き検出エリアとして設定しません。
Motion Sensitivity	動き検出の感度を－100～100 まで設定可能です。 値が大きくなるほど感度が上がります。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Default ボタンをクリックすると、工場出荷設定値に戻ります。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

6-3-4.PrimaryStream と SecondaryStream（1 次ストリームと 2 次ストリーム）

PrimaryStream と **SecondaryStream** をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

H.264(VBR Mode)

H.264(CBR Mode)

M-JPEG

工場出荷設定は Primary Stream が H.264 に設定され、Secondary Stream が M-JPEG に設定されています。

Camera Name	カメラ名称を記入します。 英数字 21 文字または、全角 10 文字以内で入力します。
Rate Control Mode	**H.264　VBR(Variable Bit Rate)Mode（可変ビットレートモード）** 一定の画質と GOP で配信されます。カメラ映像の状況でビットレートが変動します。
	H.264　CBR(Constant Bit Rate)Mode（固定ビットレートモード） 一定のビットレートと GOP で配信されます。カメラ映像の状況で画質が変動します。
Image Quality	**H.264　VBR(Variable Bit Rate)Mode（可変ビットレートモード）と M-JPEG** Low Compression / Highest / High / Normal / Low / Lowest の 6 種類から選択します。 Low Compression が最高画質ですが、使用帯域がより必要になります。 Lowest は、画質は低下しますが、使用帯域は少なくなります。
Bit Rate Control	**H.264　CBR(Constant Bit Rate)Mode（固定ビットレートモード）** ビットレートを 12Mbps（高画質）～32kbps（低画質）の 15 種類からで選択設定します。
GOP Structure	フレームのサイズを 1～64 で設定します。I フレーム間には P フレームが入ります。

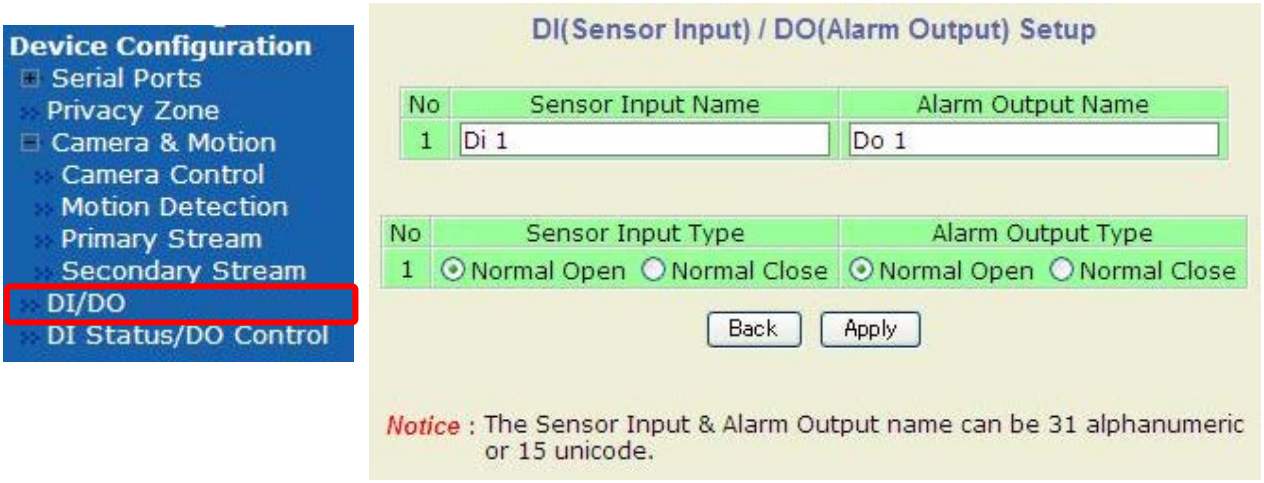
設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Default ボタンをクリックすると、工場出荷設定値に戻ります。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

6-4.DI (Sensor Input) / DO (Alarm Output)

DI/DO をクリックすると以下の設定画面が表示します。



各種センサーからの入力とアラーム出力を設定します。

Sensor Input Name	センサー入力の名称 英数字 31 文字または、全角 15 文字以内で入力します。
Alarm Output Name	アラーム出力の名称 英数字 31 文字または、全角 15 文字以内で入力します。
Sensor Input Type	Normal Open センサーからの入力信号が通常オープン、アラーム時でクローズの場合に設定します。 Normal Close センサーからの入力信号が通常クローズ、アラーム時でオープンの場合に設定します。
Alarm Output Type	Normal Open リレー出力が通常オープン、アラーム時でクローズします。 Normal Close リレー出力が通常クローズ、アラーム時でクローズします。

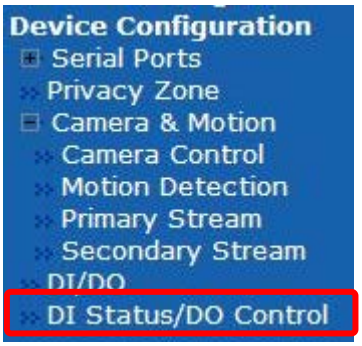
設定後は Apply ボタンをクリックして設定内容を保存してください。

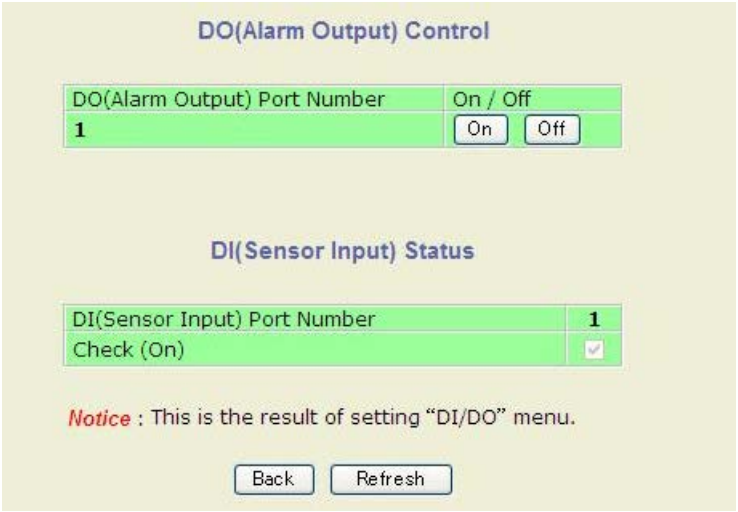
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

注意:
センサーからの入力信号タイプを接続前に確認しておいてください。
DI(各種センサーからの入力)を使用しない場合は、誤動作防止の為、Normal Open に設定して下さい。

6-5. DI(Sensor Input) Status / DO(Alarm Output) Control

DI Status/DO Control をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





○DO(Alarm Output) Control（アラーム出力の操作）

アラーム出力を操作することができます。

On ボタンをクリックすると、リレー出力がクローズし、Off ボタンをクリックすると、リレー出力がオープンになります。

○DI(Sensor Input) Status（センサーからの入力状況）

センサーからの入力状態を確認できます。Check(On)にチェックが入っていれば、センサーからの入力でアラーム動作していることが確認できます。チェックがなければアラーム動作していないことが確認できます。

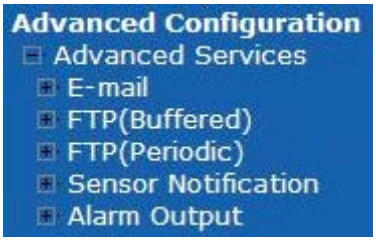
Refresh ボタンのクリックで次のチェック待ちの状態になります。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7.Advanced Configuration

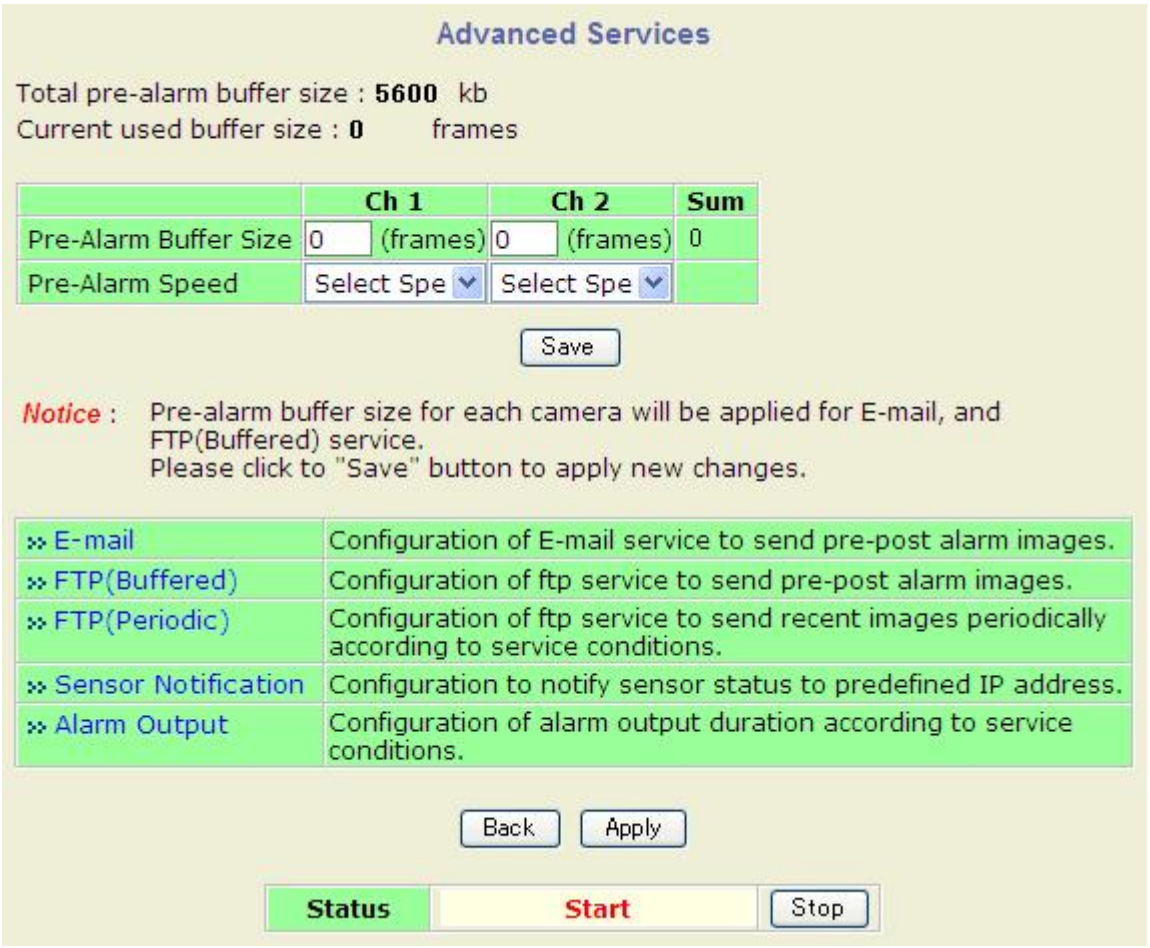
Advanced Configuration では、E-mail・FTP・センサーの状態通知設定・アラーム出力動作の設定をすることが出来ます。

Advanced Configuration をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定）

プリアラームのバッファサイズとバッファリングスピードを設定します。


Advanced Services
Total pre-alarm buffer size : 5600 kb
Current used buffer size : 0 frames
Ch 1
Ch 2
Sum
Pre-Alarm Buffer Size
0 (frames)
0 (frames)
0
Pre-Alarm Speed
Select Spe
Select Spe
Save
Notice : Pre-alarm buffer size for each camera will be applied for E-mail, and FTP(Buffered) service.
Please click to "Save" button to apply new changes.
» E-mail
Configuration of E-mail service to send pre-post alarm images.
» FTP(Buffered)
Configuration of ftp service to send pre-post alarm images.
» FTP(Periodic)
Configuration of ftp service to send recent images periodically according to service conditions.
» Sensor Notification
Configuration to notify sensor status to predefined IP address.
» Alarm Output
Configuration of alarm output duration according to service conditions.
Back
Apply
Status
Start
Stop

Pre-Alarm Buffer Size	プリアラームのバッファサイズ設定します。 イベントの前後の映像記録をフレーム単位で設定します。 各チャンネルで異なるフレーム数を合計で最大 10 フレームまで設定できます。
Pre-Alarm Speed	バッファリングスピードを設定します。0.1f/s～10.0f/s, Fastest（最速）から選択します。各チャンネルで異なるスピードを設定できます。

設定後は Save ボタンまたは Apply ボタンをクリックして設定内容を保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-2.E-mail（E メール設定）

イベント発生時の E-mail 配信設定を行います。

7-2-1.E-mail（E-mail Service Configuration）

E-mail をクリックすると以下の設定画面が表示されます。本機能は、M-JPEG のみ対応します。

Camera1,Camera2	**7-2-2.Camera（E-mail Service Setup for Each Channel）**の画面が表示されます。(Camera1 : Primary Stream, Camera2 : Secondary Stream)
Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
SMTP server address	SMPT サーバーの IP アドレスを設定します。
Authentication Login	SMPT サーバーにアクセス認証が必要な場合は Enable を選択します。
User ID	ユーザーID を設定します。
Password	パスワードを設定します。
Sender	発信者の E-mail アドレスを設定します。
1st～3rd Recipient	受信者の E-mail アドレスを 3 アドレスまで設定出来ます。

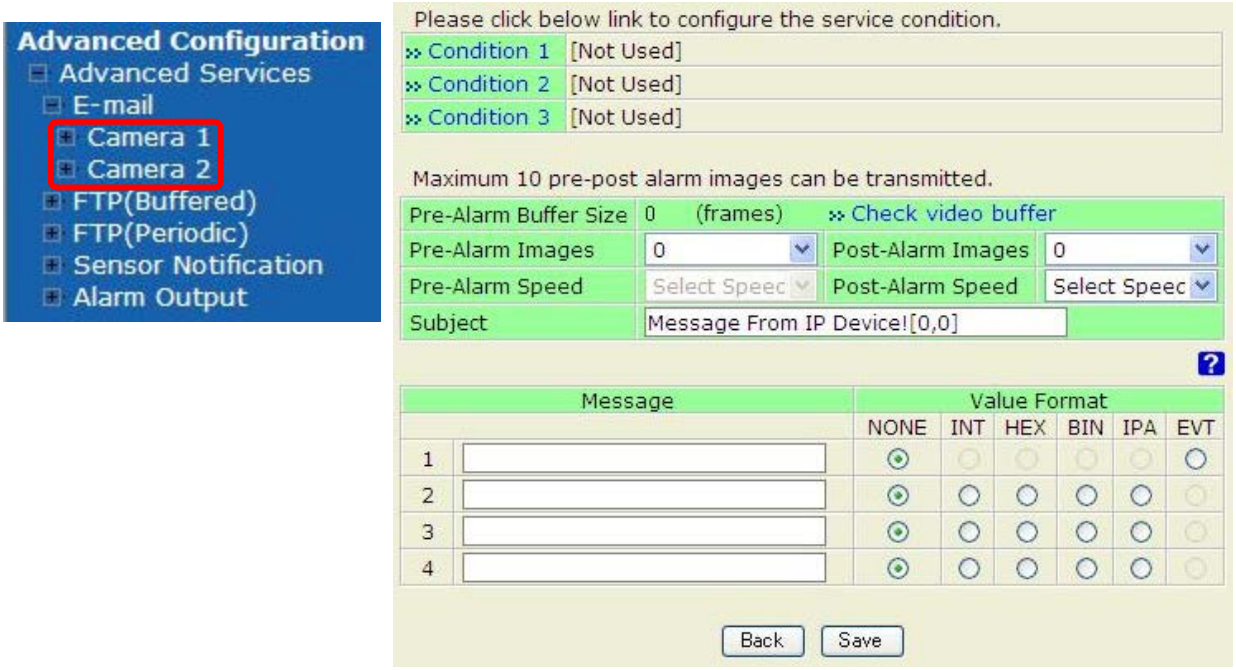
設定後は Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-2-2.Camera（E-mail Service Setup for Each Channel）

Camera1 または **Camera2** をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

各チャンネルのイベントや DI（アラーム入力）の E-mail メッセージを設定します。



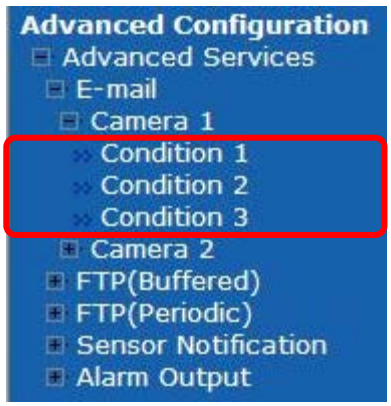
Condition1 ～Condition3	**7-2-3.Condition（スケジュールとイベント設定）**の設定画面が表示されます。
Pre-Alarm Buffer Size	設定されているプリアラームのバッファサイズを表示します。
Check Video buffer	クリックすると **7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定）**のバッファ設定画面へリンクします。
Pre-Alarm Images	プリアラーム（アラーム前）で記録される映像フレーム数 0～10 を設定します。
Post-Alarm Images	ポストアラーム（アラーム後）で記録される映像フレーム数 0～10 を設定します。
Pre-Alarm Speed	**7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定）**の **Pre-Alarm Speed** で設定したプリアラームの記録スピードを表示します。
Post-Alarm Speed	ポストアラームの記録スピードを 0.1f/s ～10.0f/s, Fastest（最速）から設定します。
Subject	送付される E-mail の表題を設定します。
1～4	送付される E-mail の内容を設定します。
Value Format	イベントとアラーム入力データの E-mail フォーマットを選択します。 NONE：送信しない　INT：10 進数　HEX：16 進数 BIN：2 進数　IPA：IP アドレス　EVT：イベント名

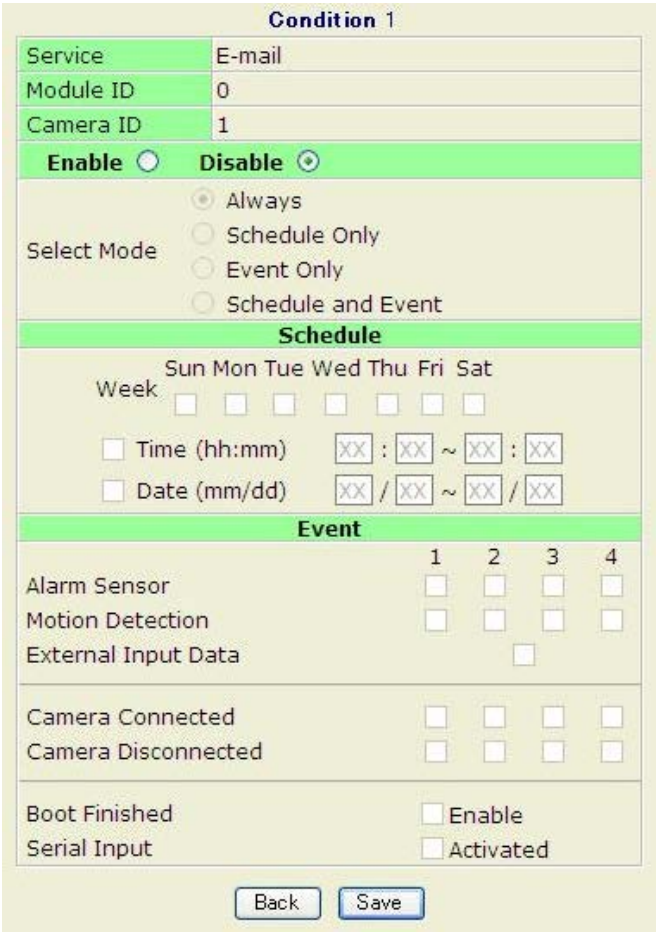
設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-2-3.Condition（スケジュールとイベント設定）

Condition 1～3 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。スケジュールとイベント動作を管理します。設定の詳細は、**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）** を参照してください。





Service	設定している項目が表示されます。
Module ID	設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID	設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
Schedule & Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

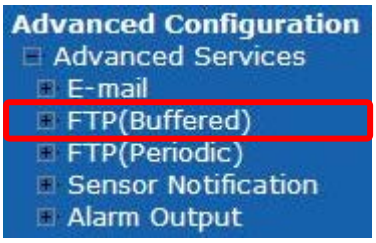
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

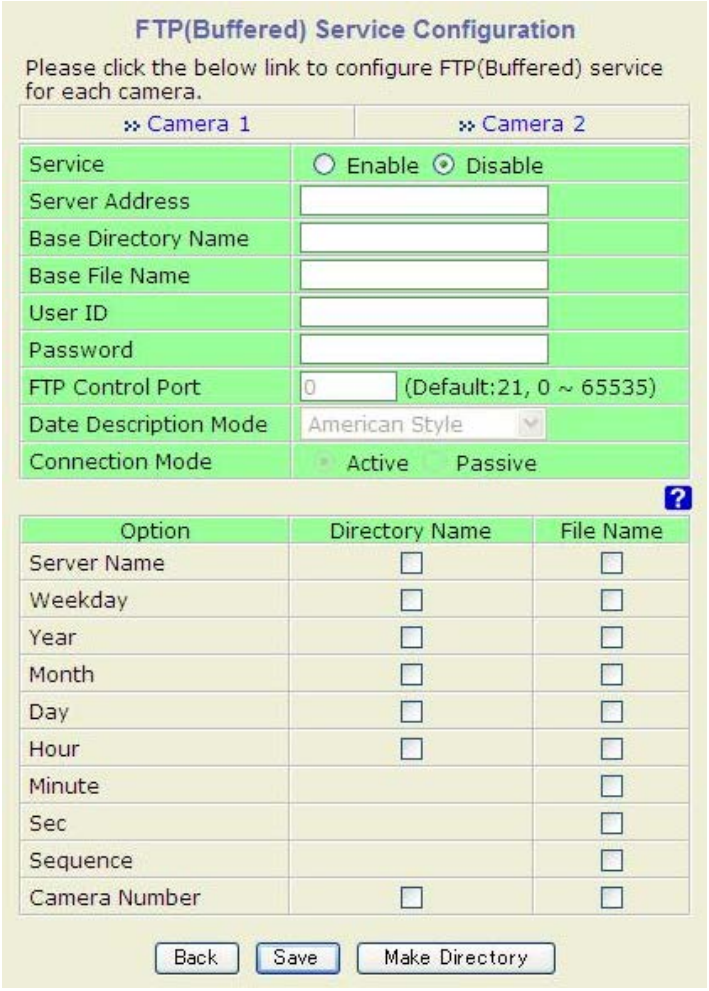
7-3.FTP(Buffered)

イベント発生時の FTP(Buffered) 設定を行います。

7-3-1.FTP(Buffered)

FTP(Buffered)をクリックすると以下の設定画面が表示されます。本機能は、M-JPEG のみ対応します。





Camera1, Camera2	**7-3-2.Camera(FTP Service Configuration)**の設定画面が表示されます。 （Camera1：Primary Stream, Camera2：Secondary Stream）
Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Server Address	FTP サーバーのアドレスを設定します。
Base Directory Name	FTP サーバーに映像データ等をアップロードするディレクトリ名を設定します。FTP サーバーに設定されているディレクトリ名を設定します。
Base File Name	FTP サーバーにアップロードするファイル名を設定します。
User ID	FTP サーバーのユーザーID を設定します。
Password	FTP サーバーのパスワードを設定します。
FTP Control Port	FTP サーバーで使用するポート番号を設定します。（通常 21 に設定）
Date Description Mode	年月日に表示法を選択します。 例： ISO Standard　YYYYMMDD
Connection Mode	FTP サーバーへのデータ転送モードを Active と Passive から選択します。

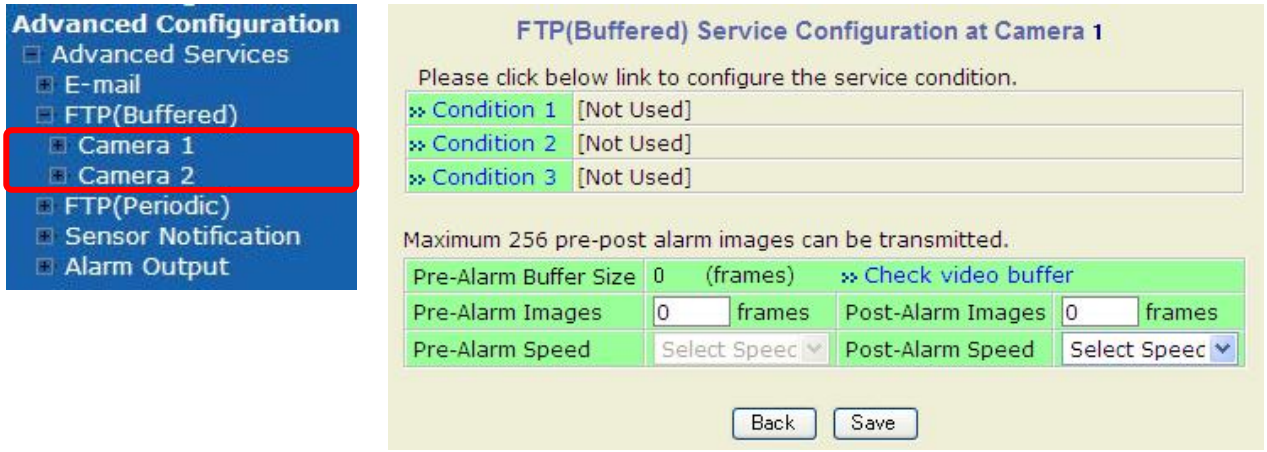
Server Name, Weekday, Month, Day Hour, Minute, Sec	Directory Name：各項目名のディレクトリが作成されます。 File Name：各項目名のファイルが作成されます。
Sequence	File Name：0 から始まるファイルが作成され、１ずつ増えていきます。
Camera Number	Directory Name：カメラ番号のディレクトリが作成されます。 File Name：カメラ番号のファイル名が作成されます。

本機能を設定するには画面下の Make Directory ボタンをクリックしてください。設定後は Save ボタンをクリックし設定内容保存し、次の設定ページに進みます。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-3-2.Camera(FTP Service Configuration)

Camera1、Camera2 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



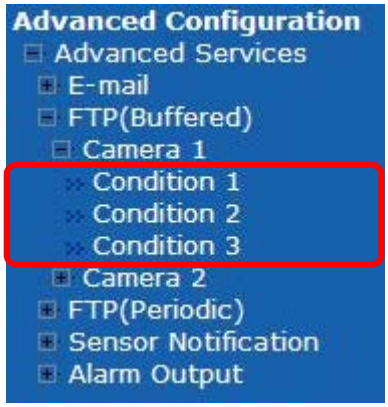
Condition1~ Condition 3	**7-3-3.Condition（スケジュールとイベント設定）**の設定画面が表示されます。
Pre-Alarm Buffer Size	プリアラームのバッファサイズが表示されます。
Check Video buffer	ここをクリックすると **7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定）**のバッファー設定項へリンクします。
Pre-Alarm Images	プリアラーム（アラーム前）で記録される映像フレーム数を設定します。
Post-Alarm Images	ポストアラーム（アラーム後）で記録される映像フレーム数を設定します。
Pre-Alarm Speed	**7-1.Advanced Services（各サービス項の詳細設定）**の **Pre-Alarm Speed** で設定したプリアラーム画像の記録スピードを表示します。
Post-Alarm Speed	ポストアラーム画像の記録スピードを 0.1f/s～10.0f/s, Fastest（最速）から設定します。

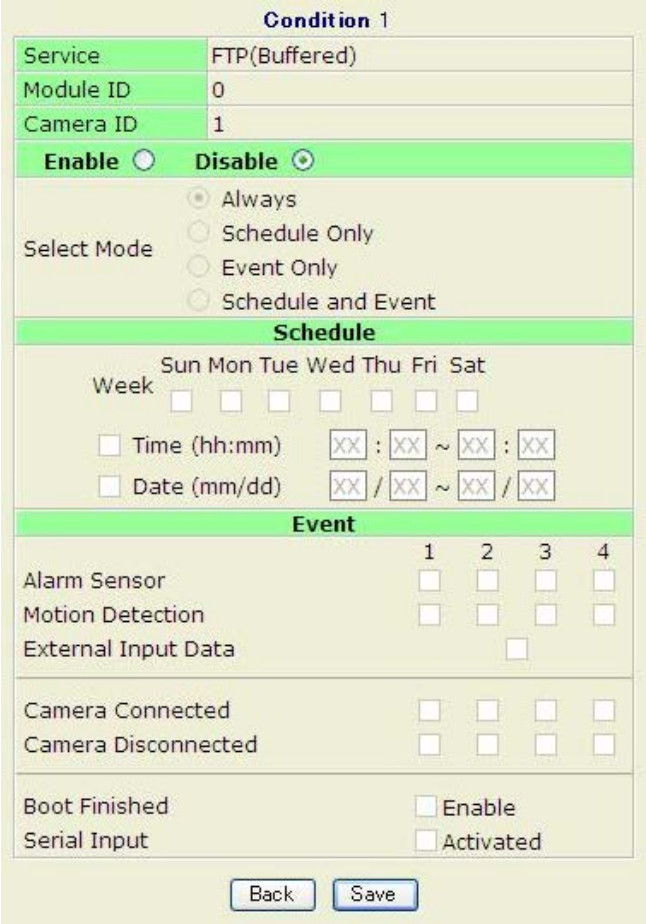
設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-3-3.Condition（スケジュールとイベント設定）

Condition 1～3 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。スケジュールとイベント動作を管理します。設定の詳細は、**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）** を参照してください。





Service	設定している項目が表示されます。
Module ID	設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID	設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
Schedule & Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

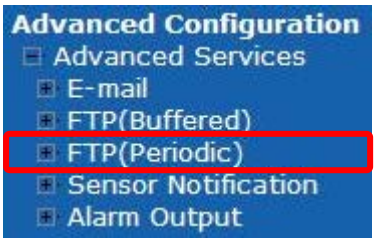
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

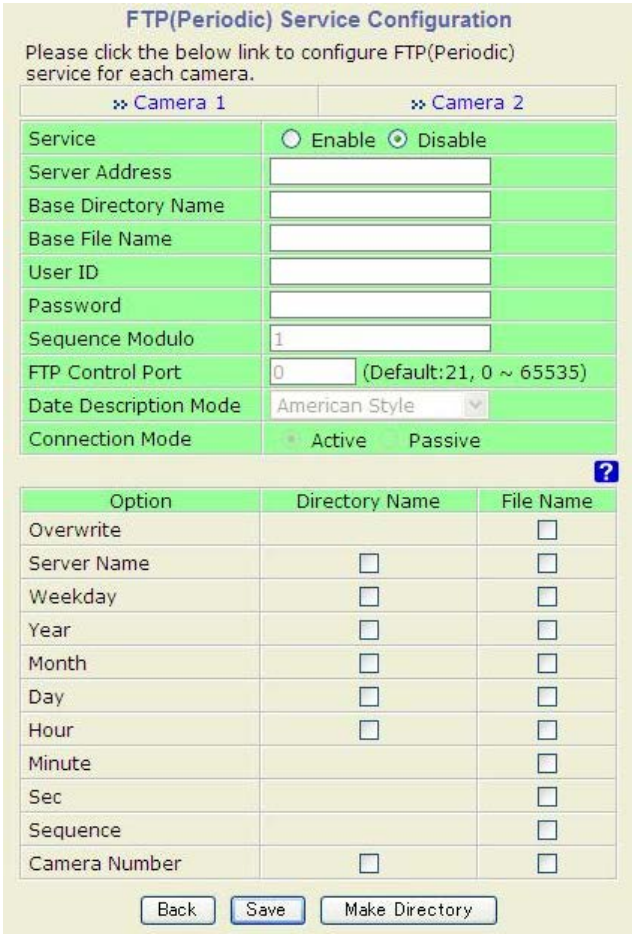
7-4.FTP(Periodic)

イベント発生時の FTP(Periodic) 設定を行います。

7-4-1.FTP(Periodic)

FTP(Periodic)をクリックすると以下の設定画面が表示されます。本機能は、M-JPEG のみ対応します。





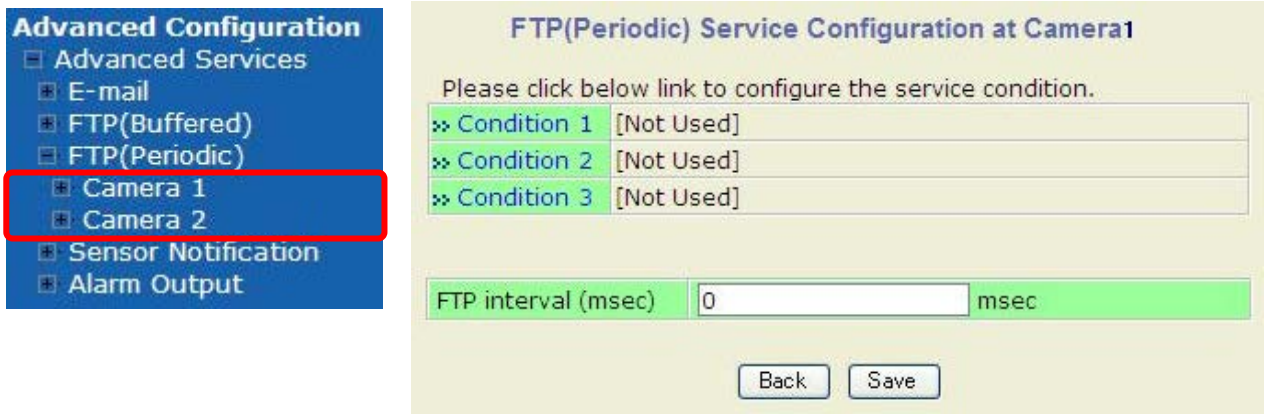
Camera1-Camera2	**7-4-2.Camera（FTP Service Configuration）**の設定画面が表示されます。 （Camera1：Primary Stream, Camera2：Secondary Stream）
Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Server Address	FTP サーバーのアドレスを設定します。
Base Directory Name	FTP サーバーに映像データ等をアップロードするディレクトリ名を設定します。FTP サーバーに設定されているディレクトリ名を設定します。
Base File Name	FTP サーバーにアップロードするファイル名を設定します。
User ID	FTP サーバーのユーザーID を設定します。
Password	FTP サーバーのパスワードを設定します。
Sequence Modulo	FTP サーバーに保存される最大ファイル数です。
FTP Control Port	FTP サーバーで使用するポート番号を設定します。（通常 21 に設定）
Date Description Mode	年月日に表示法を選択します。 例： ISO Standard　YYYYMMDD
Connection Mode	FTP サーバーへのデータ転送モードを Active と Passive から選択します。

Overwrite	File Name：新ファイルが旧ファイルに同じファイル名で上書きされます。
Server Name, Weekday, Month, Day Hour, Minute, Sec	Directory Name：各項目名のディレクトリが作成されます。 File Name：各項目名のファイルが作成されます。
Sequence	File Name：0 から始まるファイルが作成され、1 ずつ増えていきます。
Camera Number	Directory Name：カメラ番号のディレクトリが作成されます。 File Name：カメラ番号のファイル名が作成されます。

本機能を設定するには画面下の Make Directory ボタンをクリックしてください。
設定後は Save ボタンをクリックし設定内容保存し、次の設定ページに進みます。
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-4-2.Camera（FTP Service Configuration）

Camera1、Camera2 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

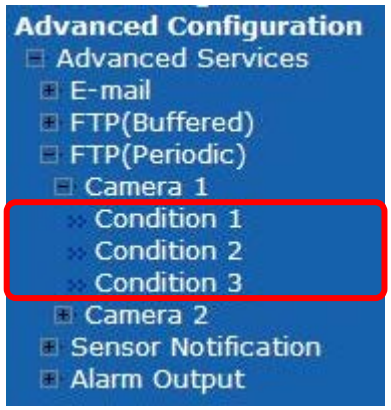


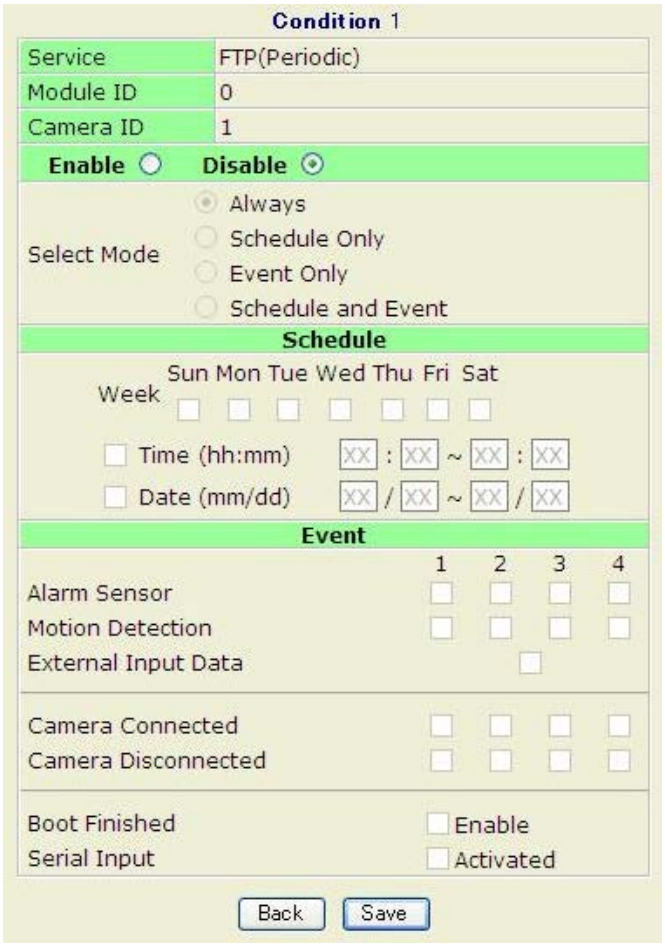
Condition1～Condition3	**7-4-3.Condition（スケジュールとイベント設定）** の設定画面が表示されます。
FTP interval(msec)	FTP サーバーへのアップロード間隔を 10msec 単位で設定します。 154 と入力しても 150msec となります。1 桁の数字を入力するとゼロと設定されますので注意してください。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-4-3.Condition（スケジュールとイベント設定）

Condition 1～3 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。スケジュールとイベント動作を管理します。設定の詳細は、**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）** を参照してください。





Service	設定している項目が表示されます。
Module ID	設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID	設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
Schedule & Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

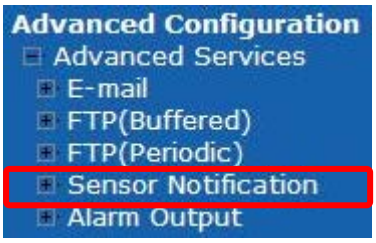
Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

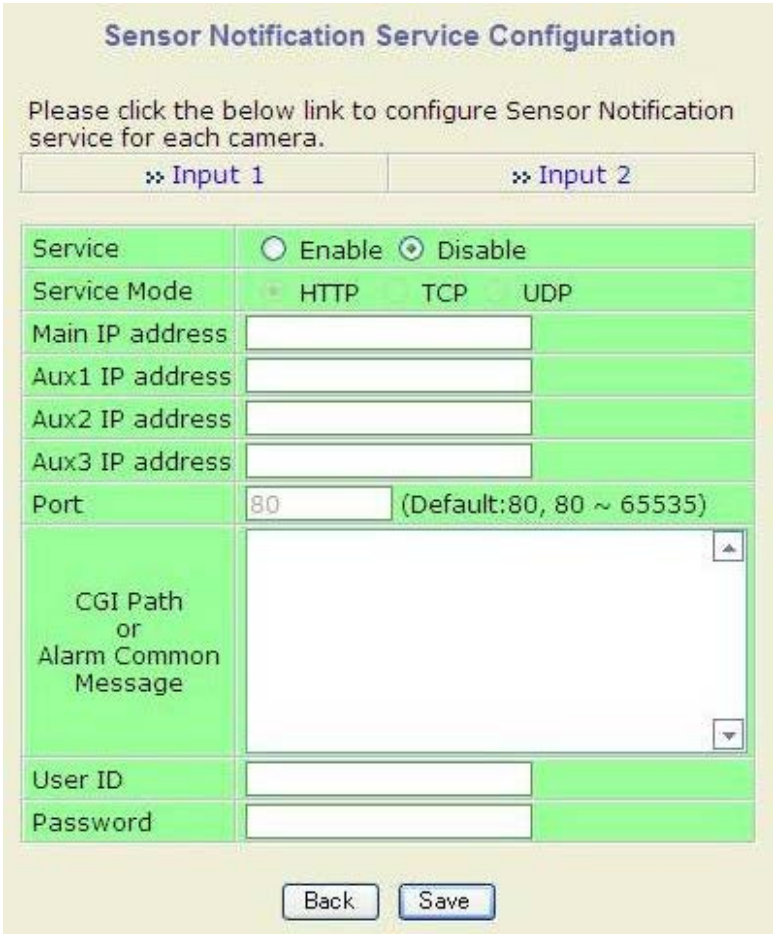
7-5.Sensor Notification（センサーの状態通知設定）

センサーの状態通知の設定を行います。

7-5-1.Sensor Notification

Sensor Notification をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





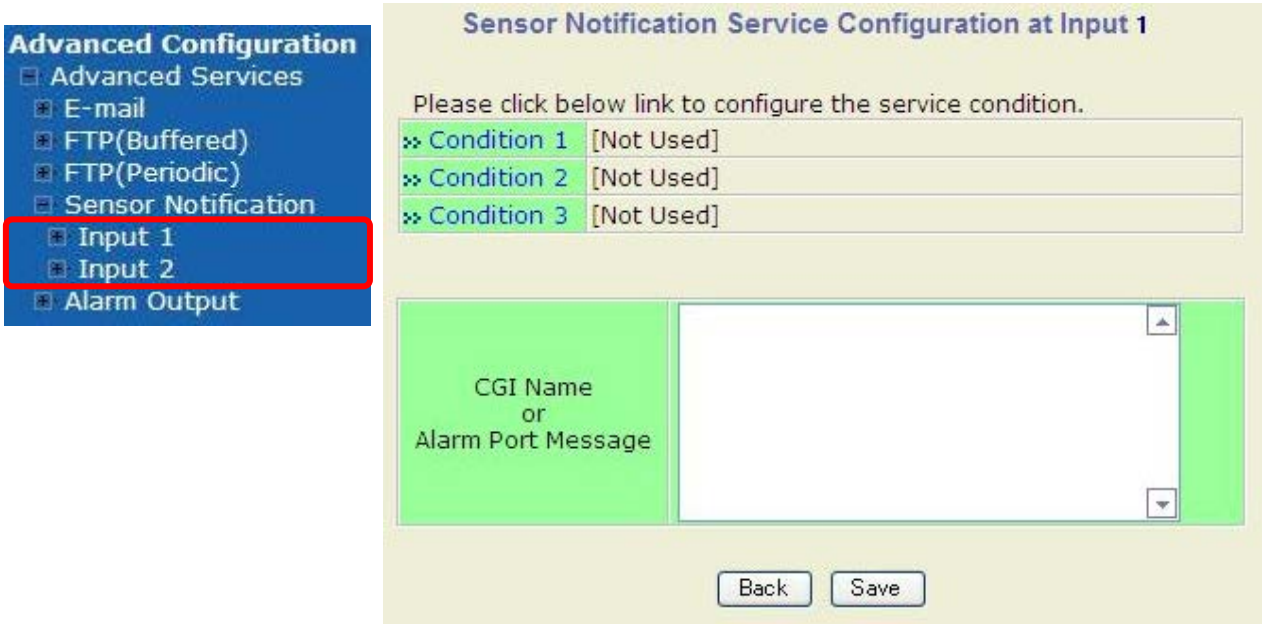
Input 1, Input 2	**7-5-2.Input** の設定画面が表示されます。
Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Service Mode	CGI のネットワークモードを HTTP,TCP,UDP から選択します。
Main IP address	CGI または他の機能のための IP アドレスを入力します。
Aux1 ~ Aux 3 IP address	CGI または他の機能のための IP アドレスを 3 つまで入力します。
Port	ポート番号を設定します。（通常 80 を使用）
CGI Path or Alarm Common Message	CGI のパスまたはアラーム共通のメッセージを記入
User ID	ログインユーザーID を入力します。
Password	ログインパスワードを入力します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-5-2.Input

Input1、Input2 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



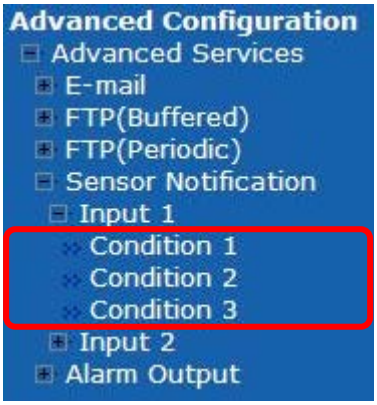
Condition1～ Condition3	**7-5-3.Condition（スケジュールとイベント設定）**の設定画面が表示されます。
CGI Name or Alarm Port Message	CGI の名称または、アラームポートのメッセージを入力します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-5-3.Condition（スケジュールとイベント設定）

Condition 1～3 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。スケジュールとイベント動作を管理します。設定の詳細は、**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）** を参照してください。



Service	設定している項目が表示されます。
Module ID	設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID	設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
Schedule & Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-6.Alarm Output

アラーム出力の設定を行います。

7-6-1.Alarm Output

Alarm Output をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

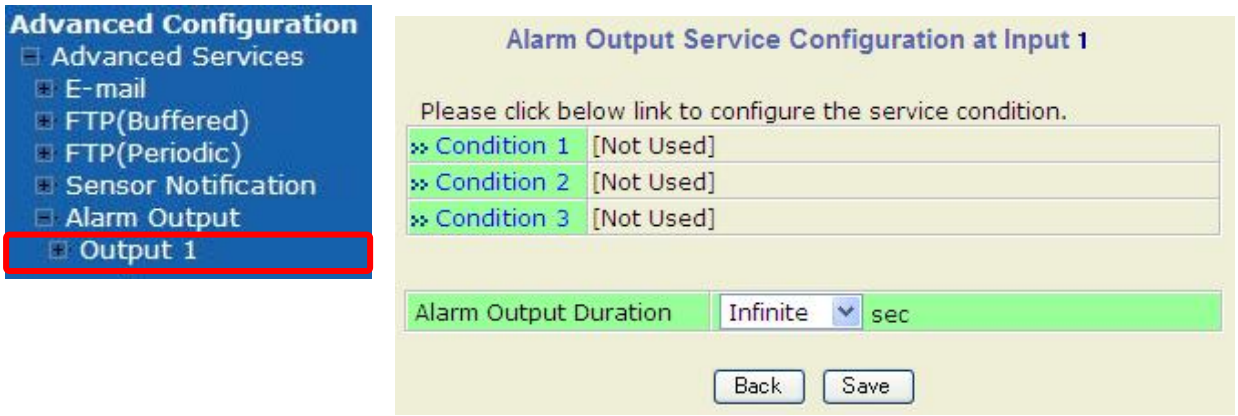
Output 1	**7-6-2.Output** の設定画面が表示されます。
Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-6-2.Output

Output1 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



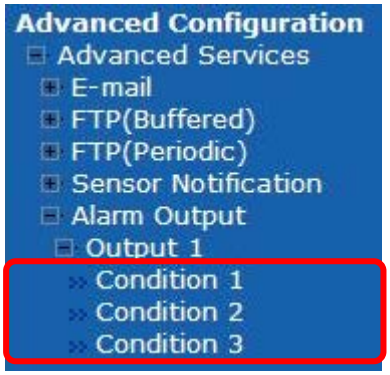
Condition1～ Condition3	**7-6-3.Condition（スケジュールとイベント設定）** の設定画面が表示されます。
Alarm Output Duration	アラームトリガーからの保持時間を 1 秒～30 秒, Infinite から設定します。Infinite は解除されるまで無期限にアラーム出力されます。

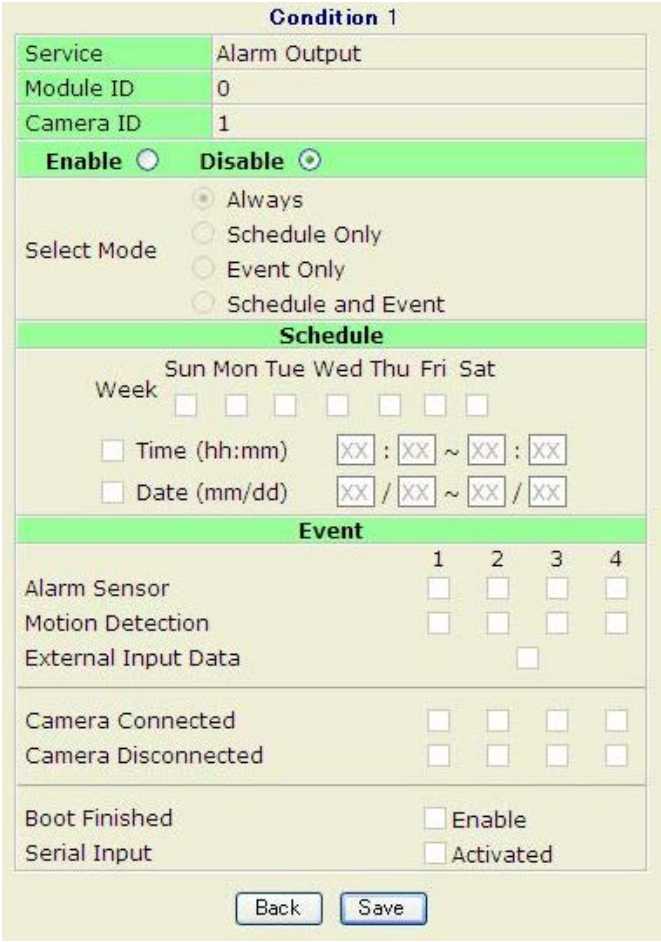
設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

7-6-3.Condition（スケジュールとイベント設定）

Condition 1～3 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。スケジュールとイベント動作を管理します。設定の詳細は、**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）** を参照してください。





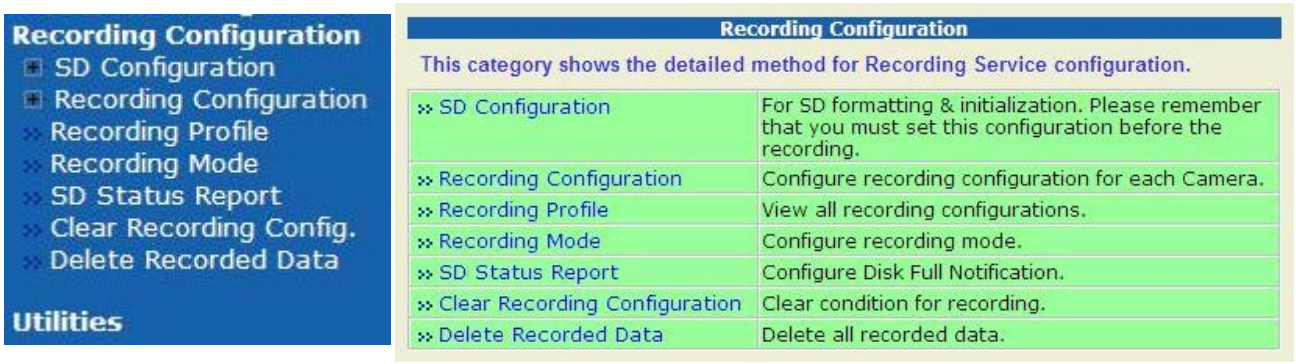
Service	設定している項目が表示されます。
Module ID	設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID	設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
Schedule & Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。

設定後は、Save ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

8.Recording Configuration

SD カードスロットがある IPD-DM11 は、Micro SD カード（以下 SD カード）に映像を記録することが出来ます。ここでは SD カードでの録画設定を説明します。対応する SD カードは、1GB～32GB です。



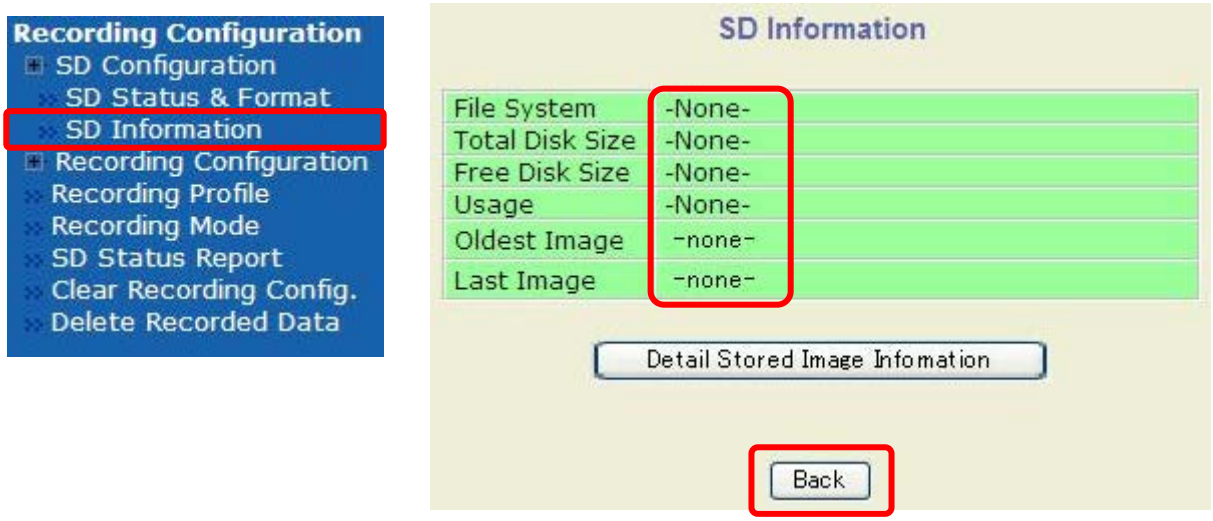
SD Configuration	SD カードのフォーマットとイニシャライズを行います。 SD カードを初めて使用する場合に必要です。
Recording Configuration	録画方法の設定をします。
Recording Profile	録画の設定内容を表示します。
Recording Mode	SD カードが一杯になった場合の録画動作を設定します。
SD Status Report	SD カードの残容量が少なくなった場合の通知設定を行います。
Clear Recording Config	録画設定を工場出荷状態に戻します。
Deleat Recorded Data	録画データを削除します。

8-1.SD Configuration（SD カードの初期設定）

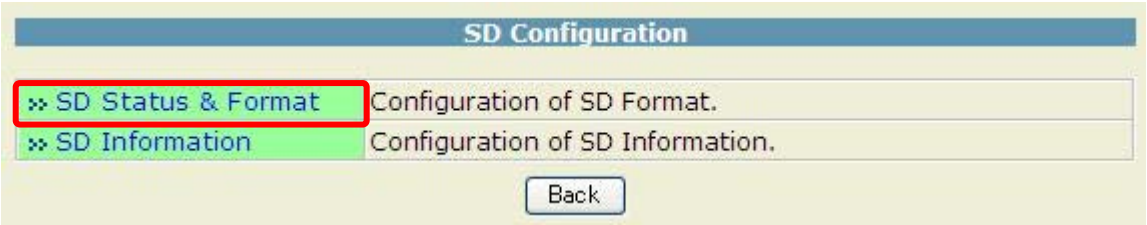
SD カードをカメラに挿入する場合は、カメラの電源を必ず切ってから SD カードを挿入して下さい。

注意：
〇SD カード挿入時は、必ずカメラの電源を切ってください。電源を入れたまま挿入すると SD カードが破損することがあります。
〇カメラとの相性で SD カードが使用できない場合がありますので、使用可能かどうか事前に確認しておいてください。

SD カード挿入後に電源を入れ、IE でログイン後、**SD Information** をクリックして下記画面を表示してください。SD カードのフォーマット状況が確認できます。



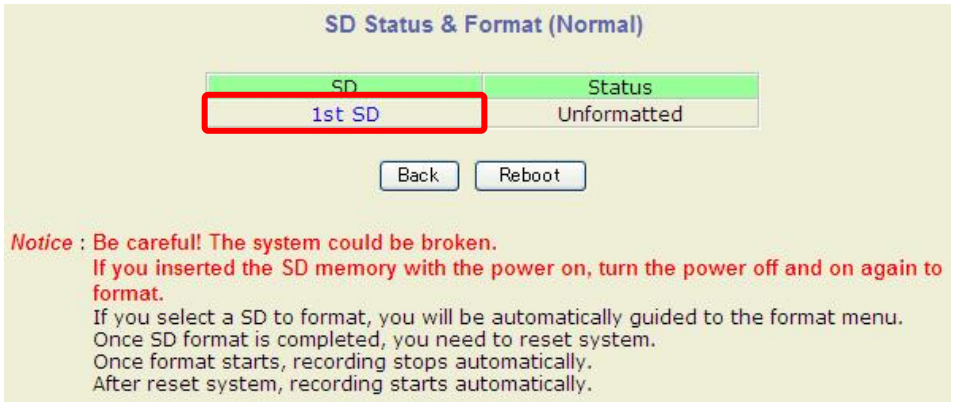
-None-の表示がある場合は、SD カードがフォーマットされていませんので、Back ボタンをクリックして下記の画面を表示し、次に **SD Status & Format** をクリックします。



下記画面が表示され、カメラに挿入された SD カードのフォーマット状態を確認できます。

Unformatted：SD カードは、フォーマットされていません。

Formatted　：SD カードは、フォーマットされています。



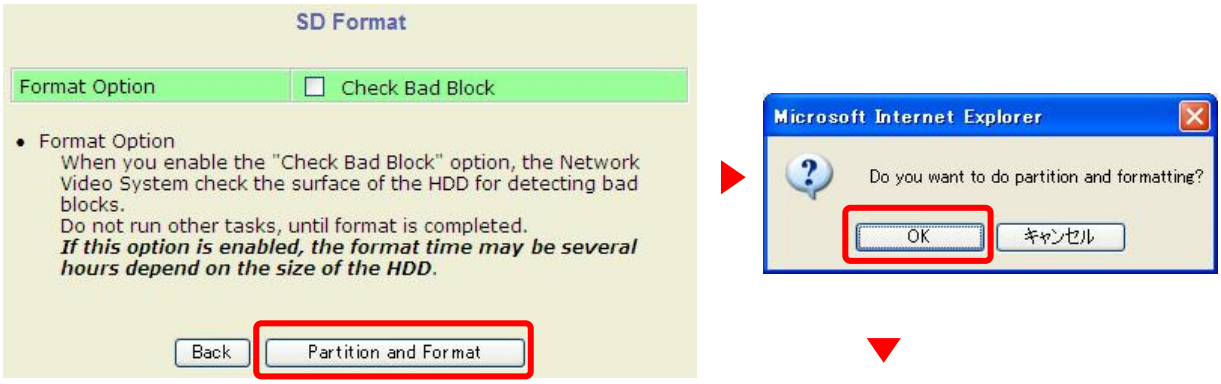
フォーマットを行う場合は **1st SD** をクリックします。フォーマット完了後は、再起動が必要です。

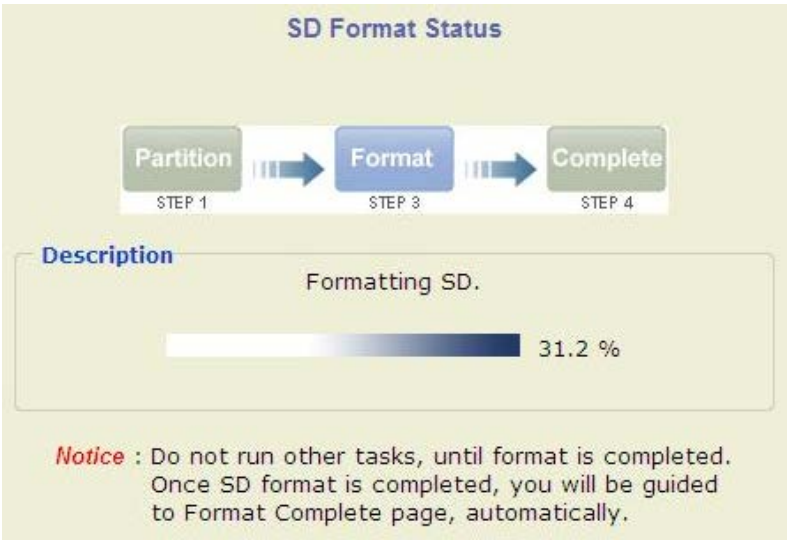
録画をしている場合は、フォーマットが開始すると録画は停止し、再起動後に録画が自動で開始されます。

次に下記画面が表示されますので、Patition and Format ボタンをクリックします。

ポップアップ画面が表示されるので、OK ボタンをクリックします。キャンセル ボタンはフォーマットしません。

Format Option の **Check Bad Block** にチェックすると SD カードの不良ブロックを検出します。実行中は他の作業を行わないでください。不良ブロックの検出には SD カードの容量によりますが数時間かかる場合があります。



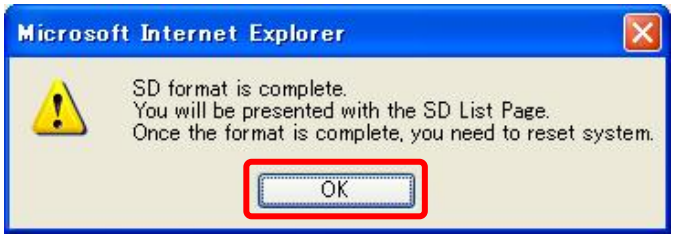


注意:

フォーマット実行中に電源断等で強制終了した場合、SD カードが損傷することがあります。

損傷防止の為、本作業の終了は正しい方法で行い、終了後は SD カードのフォーマット結果の確認を行って下さい。

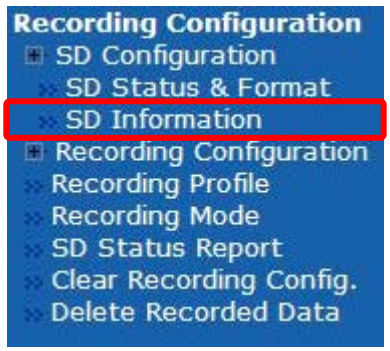
フォーマットが完了すると次の画面が表示されますので、OK ボタンをクリックします。

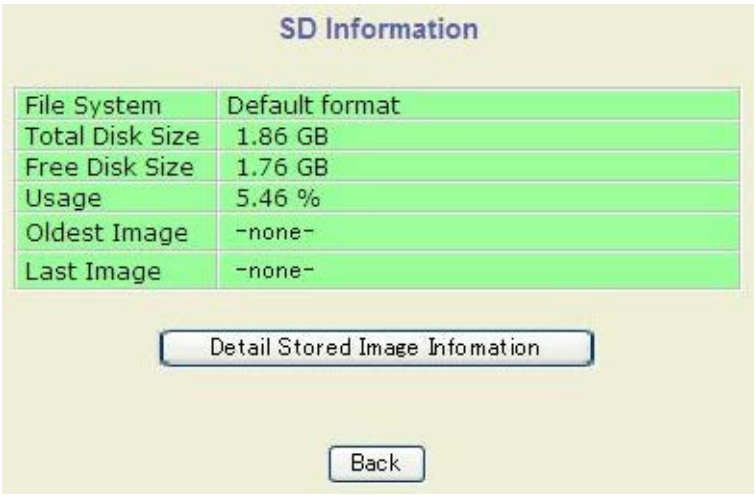


SD Status & Format 画面が表示され、カメラに挿入された SD カードがフォーマットされたことが確認できます。フォーマットされた事を確認に Reboot ボタンをクリックし再起動します。

再起動には 1-2 分かかります。

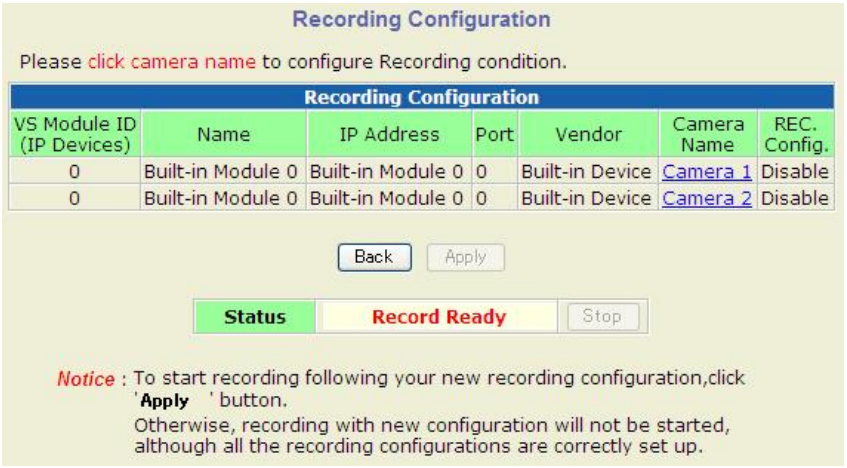
IE でログイン後、**SD Information** をクリックして下記画面を表示してください。SD カードのフォーマット結果が確認できます。（下記画面は、SD カードの容量が 2GB の場合）





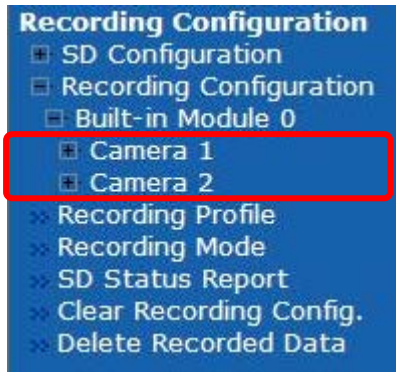
8-2.Recording Configuration（録画設定）

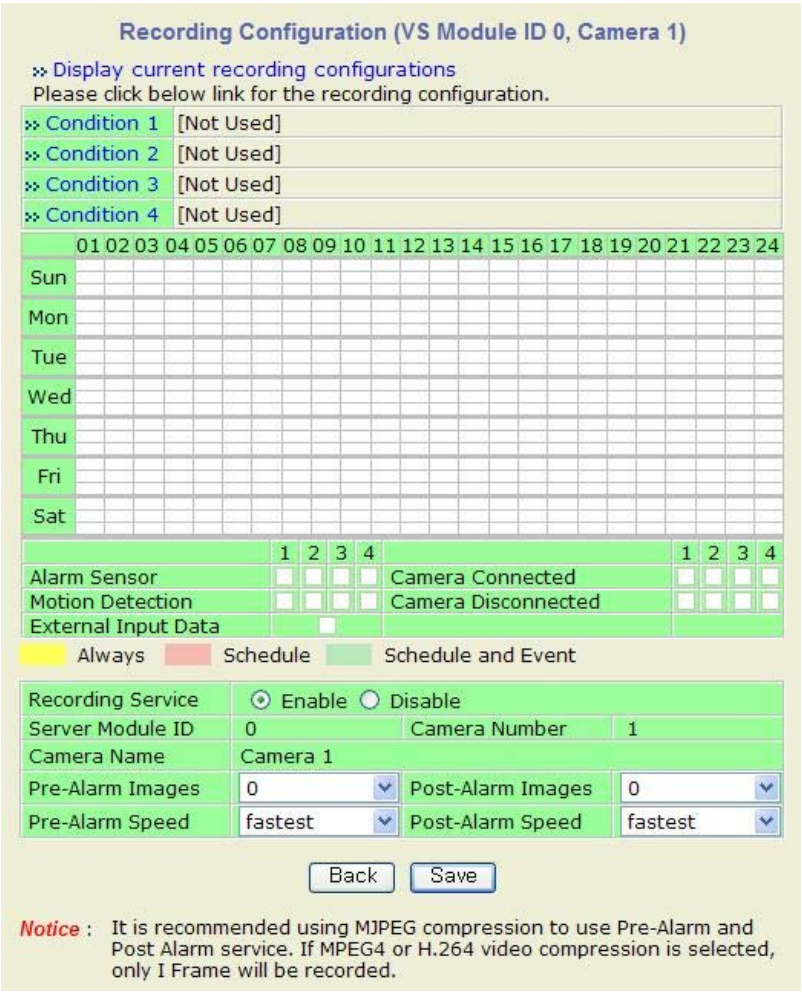
本設定では、動き検出での録画、24 時間連続録画、イベント録画などの設定を Camera1（Primary Stream）、Camera2（Secondary Stream）でそれぞれ設定可能です。**（2-5.Step 5:Recording Configuration（録画する画質とフレームの設定）と同じ）**



8-2-1.Camera（録画スケジュール設定）

Camera1, Camera2 をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





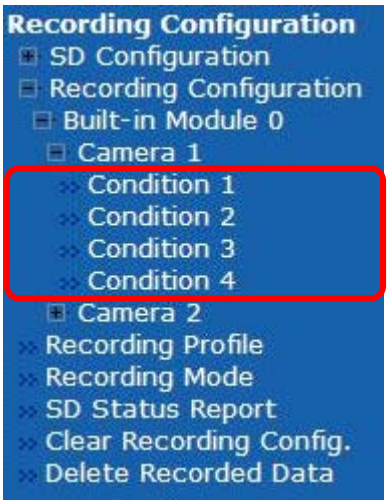
Condition 1~4	**8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）**の設定画面が表示します。
1 週間分 24 時間の表	設定された録画条件が表示されます。
Recording Service	Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Server Module ID	0 固定です。
Camera Number	1：Camera1 の Primary Stream が設定されます。 2：Camera2 の Secondary Stream が設定されます。
Camera Name	設定されたカメラ名が表示されます。英数字最大 31 文字、全角 15 文字まで設定可
Pre-Alarm Images	イベント前の記録画像フレーム数を 0～5 から設定します。 但し記録モードが Event の場合のみ有効です。
Pre-Alarm Speed	イベント前の録画スピードを 0.1f/s～10f/s, fastest（最速）から設定します。但し記録モードが Always、Schedule の場合のみ有効です。
Post-Alarm Images	イベント後の記録画像フレーム数を 0～5 から設定します。 但し記録モードが Event の場合のみ有効です。
Post-Recording Speed	イベント後の記録スピードを 0.1f/s～10f/s, fastest（最速）から設定します。但し記録モードが Always、Schedule の場合のみ有効です。

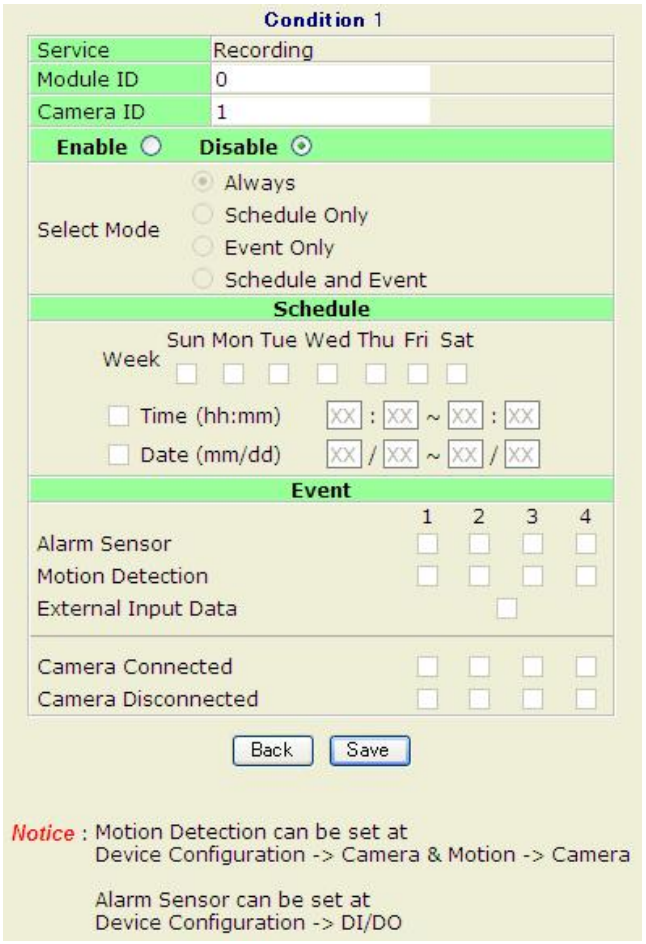
画面に従って、録画スピード、カメラ名、プリアラーム、ポストアラームの映像スピード等を設定します。設定後は Save をクリックし設定を保存してください。

プリアラーム、ポストアラームは M-JPEG を推奨します、H.264 を選択すると I フレームだけが録画されます。

Camera1, camera2 それぞれ Condition 1～4 の 4 種類の条件で録画設定が可能です。

8-2-2. Condition 1（録画スケジュール設定）





注意:

〇Event の Alarm Sensor は 6-4.DI (Sensor Input) / DO (Alarm Output)で設定可能です。

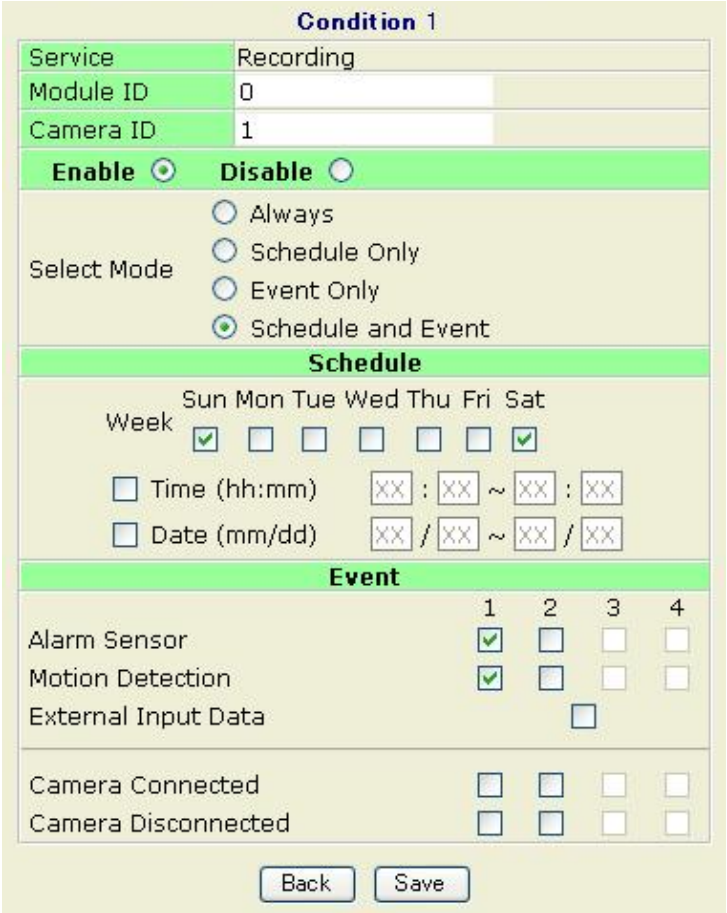
〇Event の Motion Detection は 6-3-3.Motion Detection（動き検出機能）で設定可能です。

〇Event の 1 と 2 の数字は Stream の番号です。チェック印が入った番号はイベント録画設定になっていることを表示しています。ただし全ての番号にチェックが入っている場合は、1 と 2 が動き検出した状態（アクティブ）のみで録画が開始します。

〇動き検出を使用の場合は検知域を 6-3-3.Motion Detection（動き検出機能）で設定しておいてください。

Service		設定している項目が表示されます。
Module ID		設定しているModule ID が表示されます。
Camera ID		設定している Camera ID が表示されます。
Enable / Disable		Enable：本機能を使用する場合に設定します。 Disable：本機能を使用しない場合に設定します。
Select Mode	Always	イベントとスケジュールの機能が毎日適用されます。 Schedule と Event の設定はできなくなります。
	Schedule Only	設定された日時で本機能が動作します。 Week で曜日の設定をしない場合は毎日有効となります。
	Event Only	イベント発生時に本機能が動作します。 センサー入力時、動き検出時、アラーム出力時、カメラへのログインとログアウト時、起動時。
	Schedule and Event	スケジュールとイベントの両方の機能が動作します。
Schedule	Week	録画したい曜日を選択設定します。
	Time	録画したい時間帯を設定します。
	Date	録画したい月日を設定します。
Event	Alarm Sensor	1 と 2 の数字は Stream の番号です。チェックが入っている番号はイベント録画設定になっています。ただし全ての番号にチェックが入っている場合は、1 と 2 のアラームセンサー全てが検知した状態（アクティブ）のみで録画が開始します。
	Motion Detection	1 と 2 の数字は Stream の番号です。チェックが入っている番号はイベント録画設定になっています。ただし全ての番号にチェックが入っている場合は、1 と 2 の全ての動き検出した状態（アクティブ）のみで録画が開始します。動き検出を使用の場合は **6-3-3.Motion Detection（動き検出機能）**で設定しておいてください。
	Camera Connected	本機では、機能しません。
	Camera Disconnected	本機では、機能しません。

以降に設定画面例を示します。



○**Condition1** の録画設定は毎週土曜日、日曜日にアラームセンサーが検知、または、動き検出した場合に行われます。

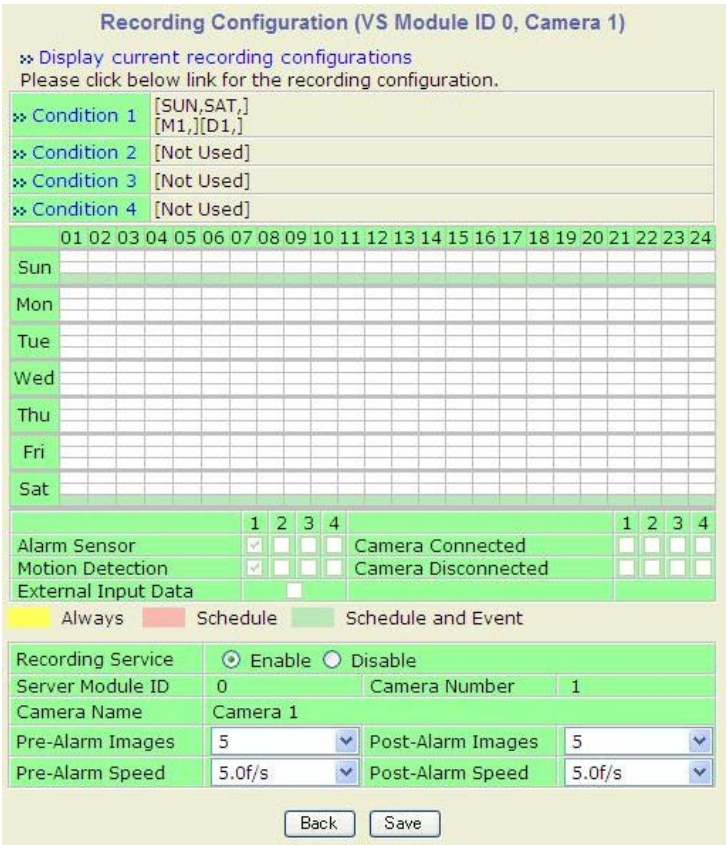
○**Time(hh:mm)**（時間設定欄）を設定しない場合は、全ての時間で動作します。

○**Week**（曜日欄）を設定しない場合は、全ての曜日で動作します。

○**Date**（mm/dd）（日付欄）を設定しない場合は、全ての日付で動作します。

○Save ボタンをクリックして設定を保存すると、設定の確認ページに移動します。

○Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。



○**Condition1** の設定画面で Save ボタンをクリックすると本設定画面が開きます。

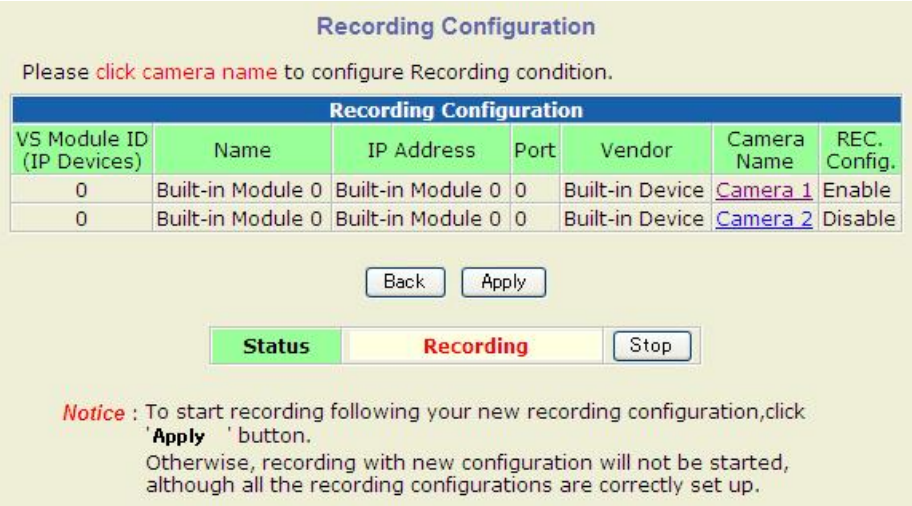
○**Condition1** の録画設定は毎週土曜日と日曜日にアラームセンサーが検知または、動き検出した場合に行われます。

○録画をしたい場合は **Recording Service** を **Enable** に設定し、録画をしない時は **Disable** を設定します。

○**Pre-Alarm** と **Post-Alarm** でイベント前後の録画設定を行えます。
詳しい動作説明は、**8-2-3.Pre-Alarm & Post-Alarm Configuration Example** を参照してください。

Save ボタンをクリックして設定を保存すると、下記の一階層上の設定画面に移動します。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、下記の一階層上の設定画面へ移動します。



録画状況が中央の **Status** 欄に表示されます。

既に録画している状態であれば当 **Status** 欄に **Recording** と表示されます。

この場合 Apply ボタンをクリックし新しい設定環境での録画を開始してください。

新しい録画環境設定が正しく行われて、録画開始されていない場合は Record ボタンをクリックし録画を開始します。設定が正しければ、SD カードに記録されます。

注意:

上の設定画面の Stop ボタン表示は録画状態です。

この状態で Stop ボタンをクリックすると、録画は停止し、ボタン表示は Record に変わり、録画開始の待機状態となります。

8-2-3.Pre-Alarm & Post-Alarm Configuration Example

設定例 1） Condition1 の設定の Selct Mode を **Always** または、**Schedule** で選択設定した場合

Pre-Alarm Images	5	Post-Alarm Images	5
Pre- Alarm Speed	1 fps	Post- Alarm Speed	10fps

本録画モード設定では、Pre-Alarm Speed が有効になり、1fps（1 フレーム/秒）で録画されます。他の設定項の値は無効です。

設定例 2） Condition1 の設定の Selct Mode を **Event Only**(Motion,Sensor)で選択設定した場合

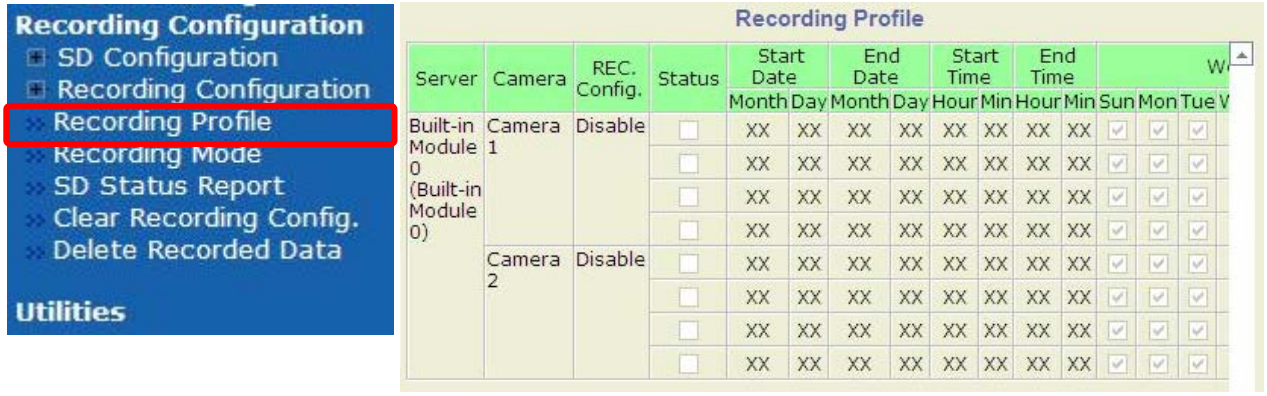
Pre-Alarm Images	5	Post-Alarm Images	5
Pre- Alarm Speed	1 fps	Post- Alarm Speed	10fps

本録画モード設定では、**Pre-Alarm Speed** / **Post-Alarm Speed** と **Pre-Alarm Images** / **Post-Alarm Images** が有効になります。この例ではアラーム前が 1fps（1 フレーム/秒）で 5 フレーム録画（5 秒間）されます。アラーム後に 10fps（10 フレーム/秒）で 5 フレーム（0.5 秒間）録画されます。

録画モードのイメージ図を示します。
複数の Condition が設定されている場合は、有効な設定に従い録画を開始します。

8-3.Recording Profile（録画設定確認）

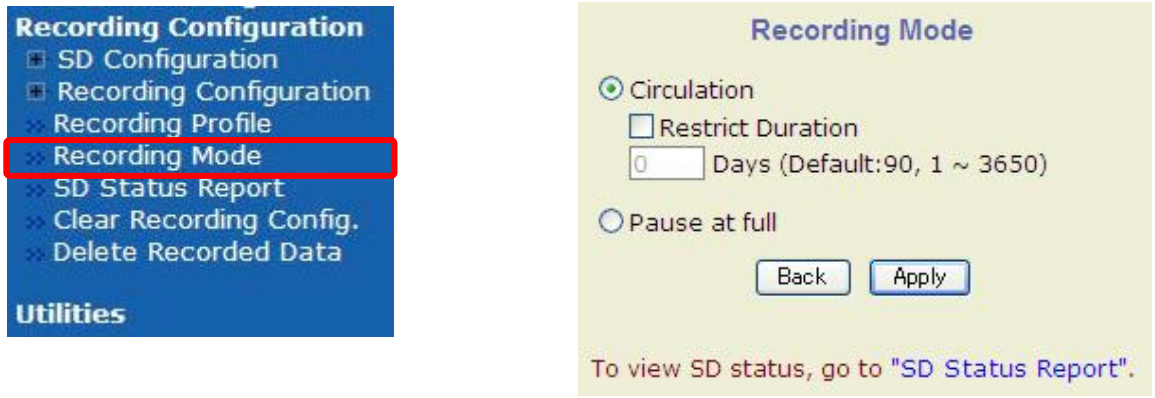
Recording Profile をクリックすると以下の設定画面が表示され、各カメラの録画設定状態が確認できます。



8-4.Recording Mode（録画モード設定）

Recording Mode をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

SD カードが録画中に記録データで容量が一杯になった場合の動作を設定します。



〇**Circulation**（上書き繰り返し録画）と **Pause at full**（録画データ満杯で停止）の選択が可能です。

〇**Circulation** は古い録画データを上書きしながら録画されていきます。

上書きは、設定された日数を削除し新しい録画データを記録します。

〇**Pause at full** は SD カードが録画データで満杯になると、録画は停止し状況を表示します。

〇録画データは 630M バイトごとに SD カードへ書き込まれます。

Circulation

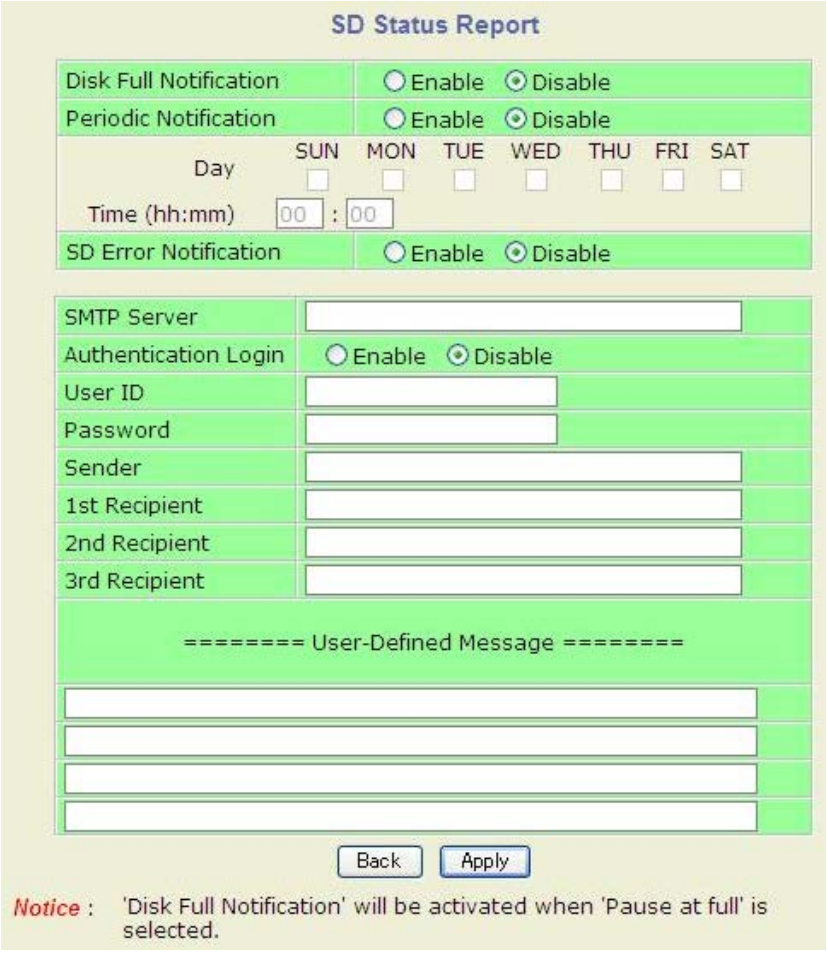
Restrict Duration にチェックを入れると、録画データを残す日数 1 日～3650 日（デフォルト 90 日）まで設定可能です。例として 3 を設定すると 3 日間分の録画データを残し、SD カードへ上書きします。

Pause at full

録画データ満杯で記録を停止する前に、SD カードの残容量情報を E-mail にて送付することが出来るので、SD カード入替え等の事前準備が可能です。（8-5.SD Status Report（SD カード使用状況 E-mail 設定）を参照）

8-5.SD Status Report（SD カード使用状況 E-mail 設定）

SD Status Report をクリックすると以下の設定画面が表示されます。



SD カードの残容量状況を E-mail で送信するための設定を行います。本機能は **8-4.Recording Mode（録画モード設定）** で **Pause at full**（録画データ満杯で停止）を選択した場合に便利です。

Disk Full Notification	SD カード容量満杯の通知をする場合は **Enable** を選択します。
Periodic Notification	SD カード容量の状況を通知する曜日、時間を指定する場合は **Enable** を選択します。
Day & Time	E-mail 通知をする曜日、時間を設定します。
SD Error Notification	SD カードエラーの通知をする場合は **Enable** を選択します。
SMTP Server	SMTP サーバーの IP アドレスを設定します。
Authentication Login	SMTP サーバーにアクセス認証が必要の場合は **Enable** を選択します。
User ID	ユーザーID を設定します。
Password	パスワードを設定します。
Sender	送信者の E-mai アドレスを設定します。
1st～3rd Recipient	受信者の E-mai アドレスを 3 アドレスまで設定出来ます。
User Defined Message	メッセージを設定します。

設定後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

Back ボタンをクリックすると設定変更中のデータがキャンセルされ、一階層上の設定画面へ移動します。

8-6.Clear Recording Config（録画設定内容の消去）

Clear Recording Config をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

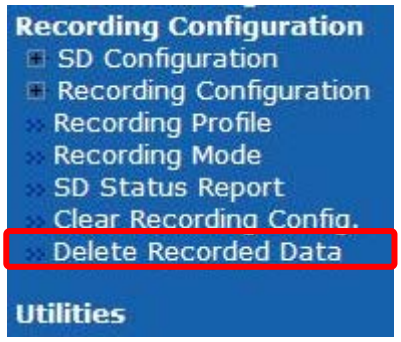
Clear Recording Configuration
Click 'Clear' to completely delete all the recording configuration you have made in the system and start new configuration.
Please be more careful not to loose your current recording configuration.
Back
Clear
Microsoft Internet Explorer
Are you sure to clear?
OK
キャンセル

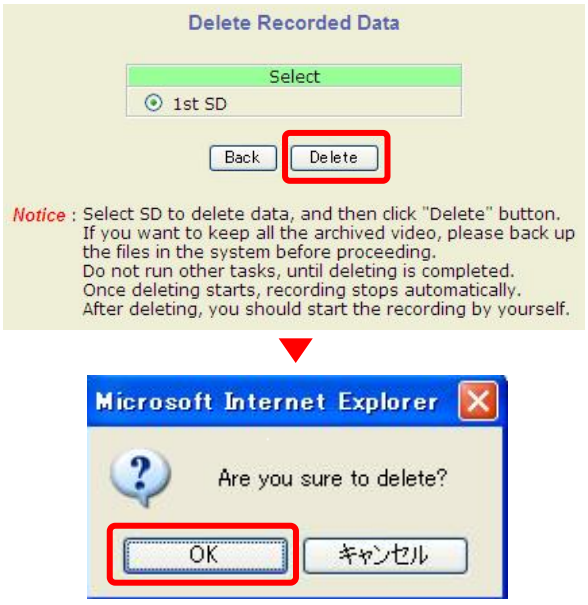
上記設定画面の Clear ボタンをクリックします。

確認画面で OK ボタンをクリックすると、全ての録画設定内容がカメラから消去されます。

8-7.Delete Recorded Data（録画データの消去）

Delete Recorded Data をクリックすると以下の設定画面が表示されます。




Delete Recorded Data
Select
1st SD
Back
Delete
Notice : Select SD to delete data, and then click "Delete" button.
If you want to keep all the archived video, please back up the files in the system before proceeding.
Do not run other tasks, until deleting is completed.
Once deleting starts, recording stops automatically.
After deleting, you should start the recording by yourself.
Microsoft Internet Explorer
Are you sure to delete?
OK
キャンセル

全ての録画データを消去できます。

上記設定画面の Delete ボタンをクリックします。

確認画面で OK ボタンをクリックすると、SD カード内の全ての録画データが消去されます。

消去後に録画を開始する場合は手動で行ってください。

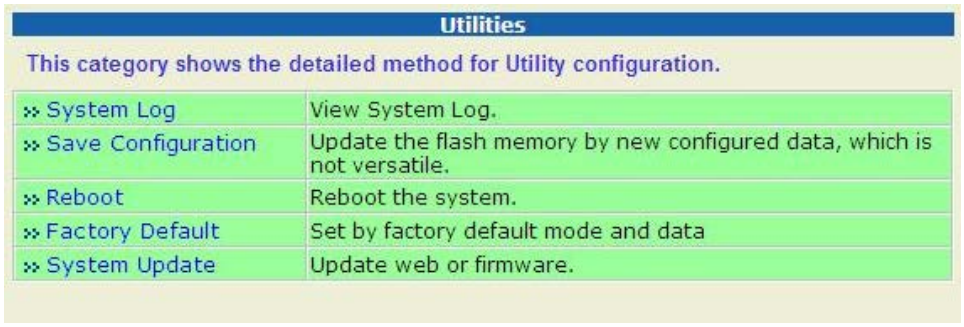
9. Utilities

本設定メニューは共通性のある設定や確認に便利な項目があります。

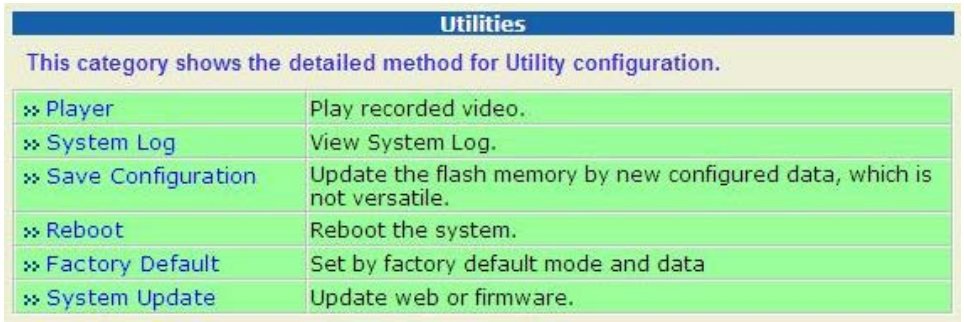
System Log(システムログファイル)、**Save Cofiguration**(設定変更の保存)、**Reboot**(再起動)、**Factory Default**（工場出荷設定)、**System Update**（システムの更新）がありまあす。

SD カードスロットがある IPD-DM11 は、Micro SD カード（以下 SD カード）を挿入することで、Player が表示され SD カード内の録画データを再生することが可能です。詳細は、別冊の取扱説明書（Player 編）を参照してください。

Player なし


Utilities
This category shows the detailed method for Utility configuration.
System Log
View System Log.
Save Configuration
Update the flash memory by new configured data, which is not versatile.
Reboot
Reboot the system.
Factory Default
Set by factory default mode and data
System Update
Update web or firmware.

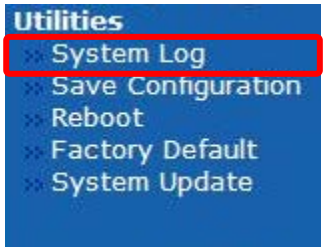
Player あり

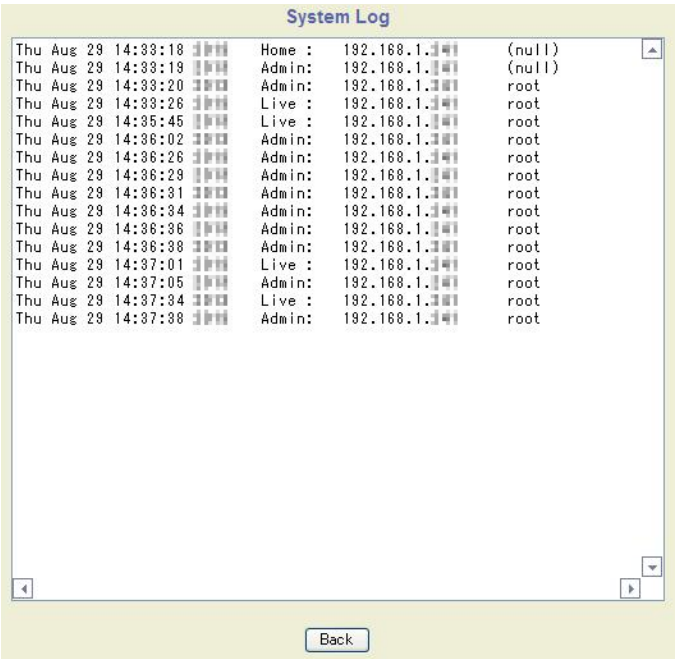


9-1.System Log（システムログ）

System Log をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

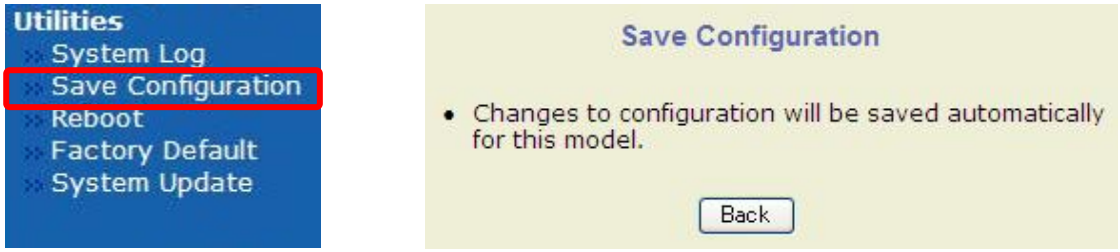
表示内容は、左側から　曜日：月：日：時間：年：アクセス種別：IP アドレス：ユーザーID です。




System Log
Thu Aug 29 14:33:18 [redacted] Home : 192.168.1.[redacted] (null)
Thu Aug 29 14:33:19 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] (null)
Thu Aug 29 14:33:20 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:33:26 [redacted] Live : 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:35:45 [redacted] Live : 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:02 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:26 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:29 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:31 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:34 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:36 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:36:38 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:37:01 [redacted] Live : 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:37:05 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:37:34 [redacted] Live : 192.168.1.[redacted] root
Thu Aug 29 14:37:38 [redacted] Admin: 192.168.1.[redacted] root
Back

9-2.Save Configuration（設定保存）

Save Configuration をクリックすると以下の設定画面が表示されます。（**2-6.Finish:Save Configuration（各設定データの保存）と同じ**）



IPD-BX11 / IPD-DM11 では、各種設定画面内で保存しますので本機能は使用しません。Back ボタンは、一階層上の設定画面へ移動します。

9-3.Reboot（再起動）

Reboot をクリックすると以下の設定画面が表示されます。

新しい設定を保存した場合には再起動することを推奨します。

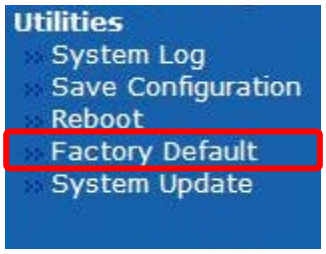
再起動をするにはメニューの Reboot!! ボタンをクリックします。

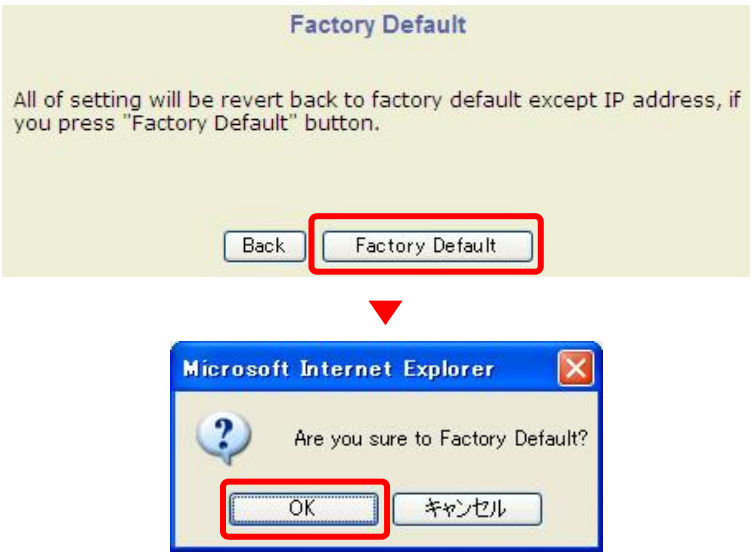
確認画面で OK ボタンをクリックします。

再起動が実行され、Web ブラウザを閉じるかどうかを確認してきますので OK ボタンをクリックし Web ブラウザを閉じてください。キャンセル ボタンをクリックすると Web ブラウザが開かれたままで再起動しますが、再起動終了までアクセスできません。再起動は、1～2 分程度です。

9-4.Factory Default（工場出荷設定）

Factory Default をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





全ての設定値を工場出荷状態に戻します。

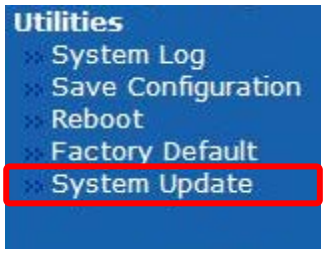
Factory Default ボタンをクリックします。

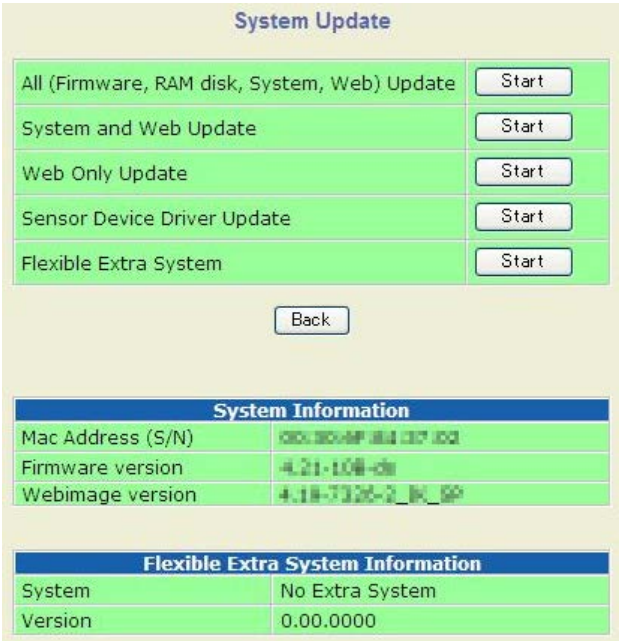
確認画面で OK ボタンクをリックし全設定値が工場出荷設定になります。

キャンセル ボタンのクリックで元の画面に戻ります。

9-5.System Update（システムのアップデート）

System Update をクリックすると以下の設定画面が表示されます。





注意：

〇システムアップデートの作業が正しく行われないと本機に重大な障害が発生し、システムが機能しなくなることがあります。以下の説明をよく読んで、注意して作業を行って下さい。

〇システムアップデート用のファイルの入手は販売店まで問い合わせてください。

〇システムアップデート終了後は必ず再起動を行って下さい。

9-5-1.All(Firmware, RAM disk, System, Web) Update（全てアップデート）

【ステップ１】

All(Firmware, RAM disk, System, Web) Update の Start ボタンをクリックします。

確認画面で OK ボタンをクリックし更新作業に入ります。

キャンセル ボタンのクリックで元の画面に戻ります。

【ステップ 2】

Firmware

アップロード

参照 ボタンでファームウエア更新用の“**a_ker_ds ファイル**“を選択します。

ファイル選択後 Next ボタンをクリックします。既に該当ファイルが選択されている場合は Skip ボタンをクリックし次のステップに進みます。

カメラの故障や誤動作防止のため、本画面を強制終了しないでください。

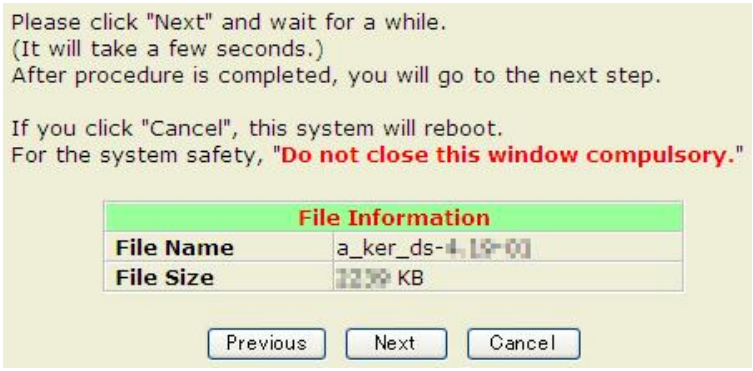
注意:

〇ポップアップ画面が表示されない場合は、IE のポップアップブロックが機能している場合がありますので解除してください

【ステップ 3】

Firmware

確認



選択した更新用ファームウエアのファイル名とサイズを確認します。問題なければ、Next ボタンをクリックしアップロードします。

カメラに更新用**"a_ker_ds ファイル"**がアップロードされ次のステップに進みます。

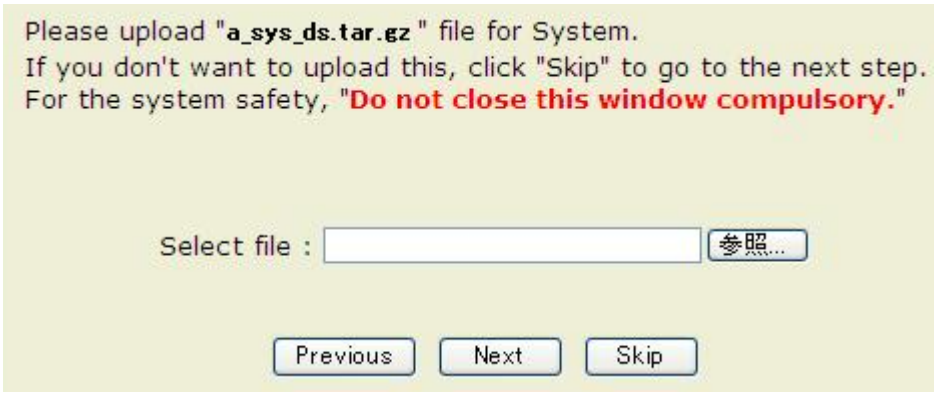
Previous ボタンのクリックで**【ステップ 2】**の画面に戻ります。

更新作業を中止したい時は Cancel ボタンをクリックしてください。自動的に再起動します。

以下の**【ステップ 4】【ステップ 5】【ステップ 6】**を、**【ステップ 2】**と**【ステップ 3】**と同様な方法でアップロードを行ってください。

【ステップ 4】
RAM disck
アップロード

【ステップ 5】
System
アップロード



【ステップ 6】
Web
アップロード

【ステップ 7】
アップロード
完了

"Firmware", "RAM disk", "System", "Web"の全てのアップロードを完了すると上記画面が表示されます。

システムアップデート作業に問題がなければ Next ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されアップデートの経過が表示されます。

システムアップデート作業に問題があると思われる場合は、Factory Default ボタンをクリックしバージョンアップする前の状態に戻します。IP アドレス以外の設定は、工場出荷状態に戻ります。

【ステップ 8】
アップデート
完了

アップデートが完了すすると、上記画面が表示されます。

Reboot!!ボタンのクリックでカメラが再起動し、アップデートが適用されます。

再起動中はカメラへの接続が切断されますので、数分間は映像配信が停止します。

再起動後にカメラへログインし IE にてライブ映像を確認してください。

9-5-2.System and Web Update（システムファイルと Web ファイルのアップデート）

本機能は、サポート対象外です

9-5-1.All(Firmware, RAM disk, System, Web) Update（全てアップデート）の【ステップ 5】～【ステップ 8】と同じ確認画面が表示さるので、同様に更新作業を進めてください。

9-5-3.Web Only Update（ウェブのみのアップデート）

本機能は、サポート対象外です

9-5-1.All(Firmware, RAM disk, System, Web) Update（全てアップデート）の【ステップ 6】～【ステップ 8】と同じ確認画面が表示さるので、同様に更新作業を進めてください。

9-5-4.Sensor Device Driver Update（センサーデバイスドライバーのアップデート）

本機能は、表示されていますが機能しません

9-5-5.Flexible Extra system（外部付加装置の追加）

本機能は、表示されていますが機能しません

Ikegami
池上通信機株式會社

本社:
〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16
TEL(03) 5700-1111(大代)
http://www.ikegami.co.jp/

営業本部	〒146-8567	東京都大田区池上 5-6-16 本社ビル	電話 03-5748-2211(代)
大阪支店	〒564-0052	大阪府吹田市広芝町 9-6 第 1 江坂池上ビル	電話 06-6389-2833(代)
札幌営業所	〒060-0051	北海道札幌市中央区南一条東 1-3 パークイースト札幌 8F	電話 011-231-8218(代)
仙台営業所	〒983-0862	宮城県仙台市宮城野区二十人町 99 富士フイルム仙台ビル 6F	電話 022-292-2420(代)
名古屋営業所	〒465-0051	愛知県名古屋市名東区杜が丘 1-1506 加藤第 2 ビル	電話 052-705-6521(代)
福岡営業所	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南 3-7-10 ST ビル 4F	電話 092-451-2521(代)

NNA006905-00